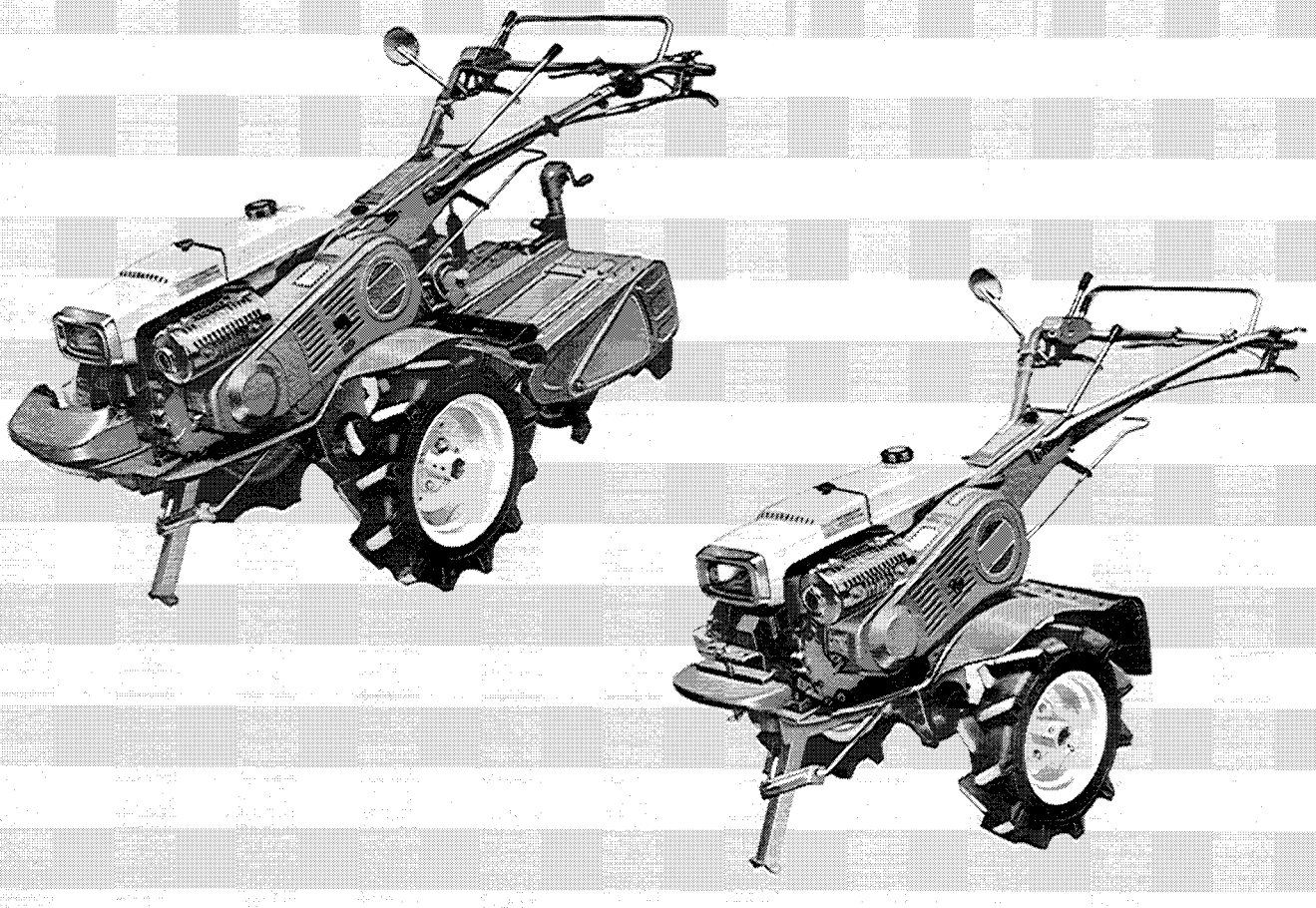
快足テーラー

〔電子エンジン搭載〕

(Z)T5・(Z)T7



取扱説明書

安全に作業するために

安全運転のために，次のことがらを必ず守ってください。

1．はじめに

取扱説明書をよく読んで，機械の使い方をよく覚えてから使用してください。そして機械を点検し，異常箇所がないか確かめてから使用してください。

2．燃料の給油とエンジンの始動

(1)燃料補給をするときは，必ずエンジンを停止して行なってください。
(2)密閉した車庫内で長時間エンジンをかけたままにしておくと空気を汚し，ガス中毒を起こす危険があります。
(3)エンジンを始動するときは，クラッチを切り，主変速レバーを「中立」にしてから行なってください。

3．始　　動

発進するときは，周囲の安全を確かめ，機械の付近に人が近づかないようにしてください。
又，バックするときには，足元・後方をよく確かめてからエンジンを低速にしてバックしてください。

4．作 業 中

(1)傾斜地で作業したり重い荷物をけん引するなど，無理な運転をすると機械が転倒することがあり危険です。
(2)安全カバーなどを取りはずした状態で運転すると，回転部分に巻込まれる危険があります。
(3)共同作業者がある場合は，動作ごとに合図をかわしてください。
(4)作業中は機械の近辺に人を近づけてはいけません。

5．積込み・積降ろし

(1)丈夫なすべり止めをしたアユミ板を確実に固定し，周囲に人がいないことを確認してから行なってください。
(2)積込み・積降ろし中にトラックが移動しないように，必ずトラックのサイドブレーキを確実にかけてください。

6．走　　行

(1)5，6速で道路走行中，操向クラッチは切らないでください。急旋回は危険です。
(2)下り坂では，クラッチを切ったり，変速を中立にするとスピードが出すぎて危険です。
また操向クラッチを切ると逆方向に急旋回し危険です。
(3)高低差が大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあり，必ずアユミ板を使用してください。
(4)一般道路上では，自動車に道を譲るなど交通法規・交通道徳を守ってください。
(5)カーブでは速度を落としてハンドルを操作してください。

7．ロータリ作業

(1)耕うん爪の点検及び交換するときは次のことを守ってください。
- ●平たんな場所で。
- ●エンジンを止める。
- ●駐車ブレーキを掛ける。

安全に作業するために

(2)ロータリの取付け及び調整するときは，次のことを守ってください。
- ●ロータリ着脱レバーをいっぱいまで回してください。

(3)ロータリ作業時は，次のことを守ってください。
- ●爪軸など，回転部分には手を近づけないでください。
- ●ロータリの上に乗らない。
- ●バックのときは，必ず後方を確認してください。

8．その他

(1)次のような状態では運転しないでください。
- ●飲酒運転
- ●いねむり運転
- ●病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ●妊娠中の方

(2)だぶついたズボンや上着など回転部分に巻込まれやすい服装は，たいへん危険です。

(3)点検・整備・清掃などは必ずエンジンを止めてから取扱説明書に従い行なってください。

(4)作業中又は作業後に高温部分（マフラなど）に触れるとヤケドをする危険がありますので，必ず冷えてから整備・点検などを行なってください。

(5)機械を他人に貸す場合は，取扱い方法をよく説明し，あらかじめ「取扱説明書」「納入品安全説明書」を読むように指導してください。

★以上機械の取扱いで起こりがちなあやまちを未然に防いでいただくために，主だった注意事項を挙げました。これ以外にも本文の中で安全ポイントをその都度とり上げております。必ず守ってください。

はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，快足テーラーの正しい取扱い方法，定期的な点検及び整備について説明してあります。

本機のすぐれた性能を充分に発揮して，安全に快適な運転をしていただくため，本書をよくお読みいただくとともに，日常の保守点検，整備，給油などを充分に行なって末長くご活用ください。

なお，本製品についてより能率よく農作業を行なっていただくために，不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元の快足テーラーと，この説明書に多少の違いが生じる場合もありますが，あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

目　次

1．サービスと保証……1
2．小型特殊自動車としての取扱い……2

運転操作編

3．各部の名称……5
4．運転装置の説明……6
4．1 主クラッチレバー……6
4．2 主変速レバー……6
4．3 副変速レバー（オートクラッチレバー）…6
4．4 スロットルレバー……6
4．5 操向クラッチレバー……7
4．6 ブレーキレバー……7
4．7 ライトスイッチ……7
4．8 スタンドロッドレバー……7
4．9 ホーン……7
4.10 爪変速レバー〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕…8
4.11 後輪ハンドル〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕…8
4.12 後輪外管ハンドル〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕…8
5．運転のしかた……9
5．1 運転前の点検……9
5．2 エンジンの始動……9
5．3 エンジンの停止……10

保守点検編

6．快足テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには……13
6．1 仕業点検(毎日始動前の点検)……13
6．2 ならし運転（最初の10アール使用まで）…13
6．3 各部のオイルの交換と点検……13
6．4 各部オイルの排出方法……14
6．5 各部の給油と注油……14
6．6 使用後の清掃……16
6．7 エアークリーナの清掃……16
6．8 フューエルフイルタの清掃……17
6．9 長期格納時の手入れ……17
7．保守と調節……18
7．1 主クラッチの調節……18
7．2 操向クラッチの調節……19
7．3 ハンドル上下調節……19
7．4 車輪間隔調節と車輪交換……19
7．5 ブレーキの調節……20
7．6 ロータリけん制装置の調節〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕…20
7．7 ヘッドランプ照射角度の調節……20
7．8 点火プラグの調節……21
7．9 タイヤの空気圧……21
7.10 バランスウエイト……21
7.11 前ヒッチ前後調節……21

ロータリ編

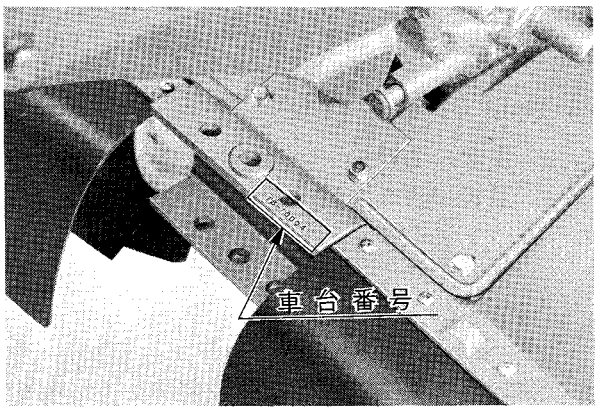
8．ロータリ装置〔(Z)T7用〕……23
8．1 ロータリの取付け……23
8．2 ロータリの取りはずし……24
8．3 副チェンケースの前後の入換え…24
8．4 耕うんカバーの出し入れ……25
8．5 側カバーの取りはずし……25
8．6 耕うん爪の取付け方……25
8．7 継足し爪軸の取付け方……27
8．8 後二輪の取付け方……27
8．9 うね立器の取付け方……27
8.10 うね立器の調節……27

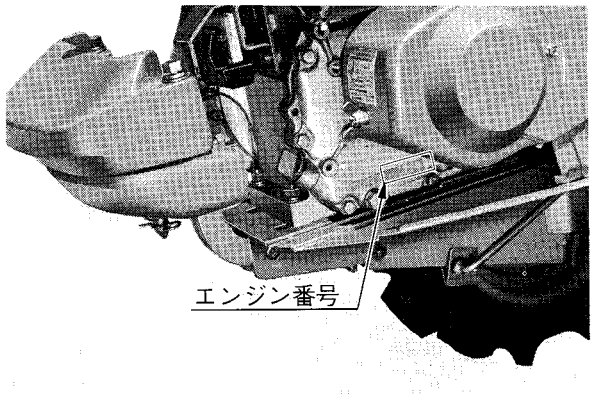
付　表

9．アタッチメント……29
9．1 パイプ車輪類……29
9．2 三角フロート車輪類……29
9．3 水田車輪類……29
9．4 湿田車輪類……29
9．5 代かきカゴ車輪類……30
9．6 湿田，田打ロータ類……30
9．7 レーキ，ハロー類……30
9．8 サポート，ヒッチ類……30
9．9 代かき装置……30
9.10 ロータリ関係……31
9.11 耕起ロータ類〔(Z)T5用〕……31
9.12 すき類……31
9.13 作溝器，培土器類……31
9.14 カルチベータ類……31
9.15 マルチ車輪類……31
9.16 ラセンスキ類……32
9.17 ロータリプラウ類……32
9.18 その他……32
9.19 特別付属品……33
9.20 標準付属品……33
10．主要諸元……34
11．クボタ純オイル……36
12．型式認定外観図……37

1．サービスと保証

この快足テーラーには，保証書が添付してあります。
詳しくは保証書を御覧ください。
なお，御使用中の故障や御不審な点及びサービスに関する御用命は，お買いあげいただきました御購入店・農協又は当社サービスステーションに，それぞれ「御相談窓口」を設けておりますのでお気軽に御相談ください。
そのさい　(1)快足テーラー名称と車台番号，
(2)エンジン名称とエンジン番号，
(3)部品名称とコードNo.
（純正部品表参照）
を合わせて御連絡ください。





◆安全鑑定適合番号

クボタＴ５……１０２０１８
クボタＴ７……１０２０１９

◆型式認定番号

クボタＴ５……農９４１号
クボタＴ７……農９４２号

型式認定時の諸元は37ページ，38ページに記載しています。

2．小型特殊自動車としての取扱い

この快足テーラーにトレーラを取付けて道路を走行すると，道路運送車両法により小型特殊自動車になるので，運輸大臣の型式認定を受けています。

■小型特殊自動車取得の届出とナンバプレートの取付け

トレーラを取付けて道路を走行する場合は，市町村条令により，その取得を市町村役所に届出，ナンバプレートを取付けなければなりません。

（詳細な手続きは市町村により相違がありますが，役所窓口での簡単な手続きでできます。）

❶小型特殊自動車取得の証明書など（御購入店・農協で発行）に，軽自動車税（年間標準税額1000円）を添えて，市町村役所に届出る。
❷届出が済むと，ナンバプレートが交付される。
❸ナンバプレートを車体の取付け位置に取付ける。

■運転免許

(1)トレーラを取付けて道路を走行する場合は，小型特殊自動車の運転可能な免許が必要です。
(2)道路走行時は，必ず運転免許証を所持してください。

■自動車損害賠償責任保険のお勧め

万一の交通事故補償に備えて，任意保険に加入されることをお勧めします。

■道路走行時の注意

(1)型式認定時の寸法を越えるトレーラを取付けないでください。(37ページ参照)
(2)ブレーキのきかないトレーラは使用しないでください。
(3)バックミラー・ホーンを所定の位置に取付け，後部反射器・ヘッドランプと共に確実に作用するか点検し，整備してください。(37ページ参照)
(4)最高速度は15km／時以下です。車輪やプーリを交換して，これ以上の速度が出るようにしないでください。
(5)運転者のほかは乗車させないでください。
(6)トレーラの積載重量と寸法を守りましょう。
(7)動力取出し軸にカバーをしてください。

■小型特殊自動車とは，

カタピラを有する自動車，農耕作業用自動車及び運輸大臣の指定する特殊な構造を有する自動車で，下欄に該当する自動車。

車体の大きさ	全長	4.70m 以下
	全幅	1.70m 以下
	全高	2.00m 以下
最高速度		15km／時以下
原動機の総排気量		1500cc 以下

■小型特殊自動車に必要な保安装置

(1)最小回転半径

トレーラを取付けた状態で，最外側のわだちについて12m以下。

(2)ブレーキ

一系統以上の制動装置が必要です。その制動距離は，制動初速度15km毎時未満の最高速度の状態で，5m以内で停止すること。

(3)ヘッドランプ

前方に1個のヘッドランプが必要です。この快足テーラーにはヘッドランプが装備されていますので更に装備する必要はありません。

(4)後部反射器

トレーラの後面には，後部反射器を備えなければなりません。

トレーラを使用される場合は，確認の上，装備されていない場合は，御購入店・農協で御購入の上，必ず取付けてください。

（クボタ純正トレーラには，後部反射器が装備されています。）

(5)ホーン

ホーンは必ず備付けなければなりません。この快足テーラーには装備されています。

(6)バックミラー

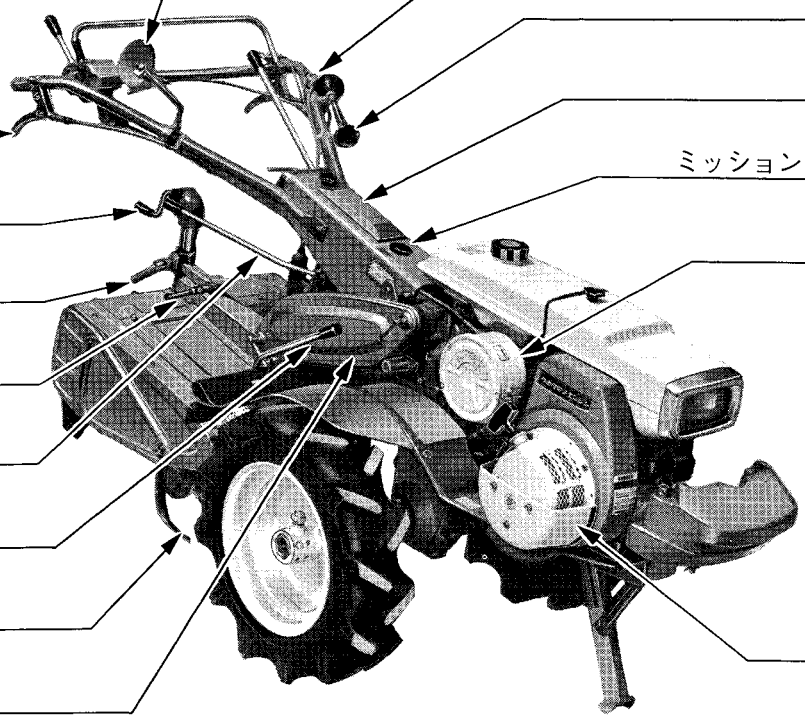
バックミラーは必ず備付けなければなりません。この快足テーラーには装備されています。

運転操作編

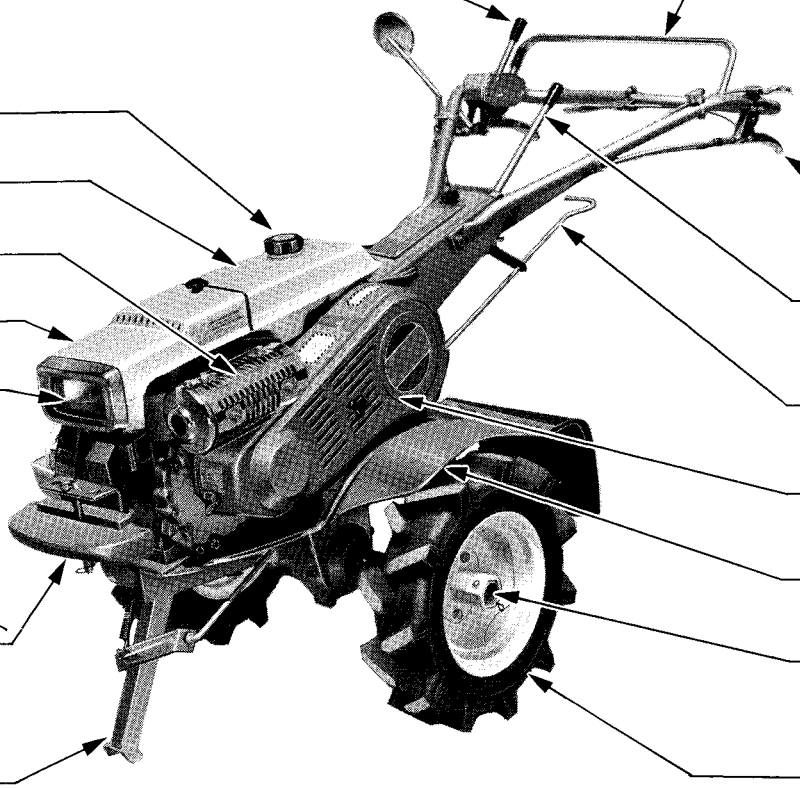
各部の名称　5ページ
運転装置の説明　6～8ページ
運転のしかた　9～10ページ

3．各部の名称

(Z)T7



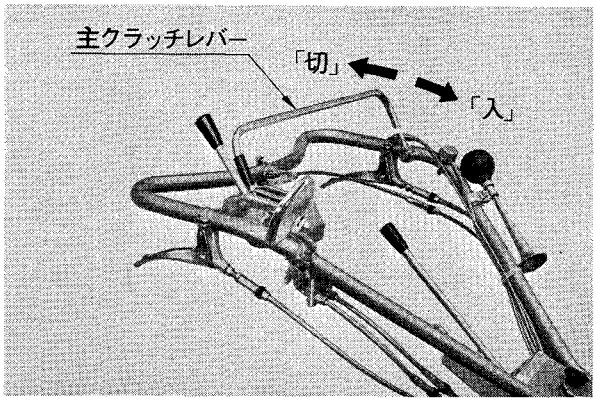
(Z)T5



4．運転装置の説明

4.1　主クラッチレバー

前方に倒すと，主クラッチが入り，手前に戻すと切れます。

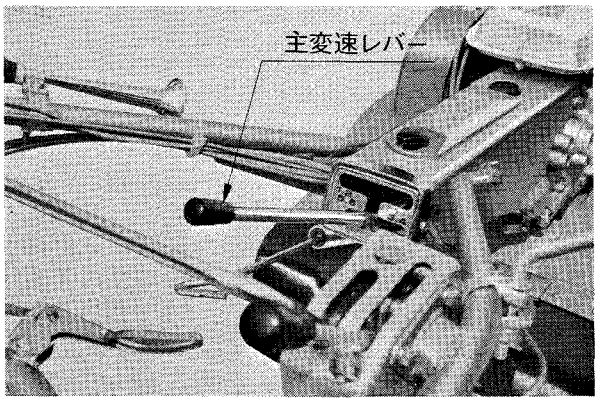


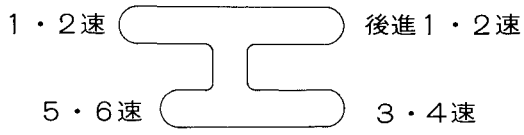
安全ポイント

(1)トレーラ運搬作業や路上走行時，主クラッチレバーを急激に入れますと，エンストをしたり急に走り出したりして危険です。
(2)後進のときはハンドルが持ち上り危険ですので，ゆっくり主クラッチを入れてください。

4.2　主変速レバー

主変速レバーと副変速レバー操作の組合せにより前進6段，後進2段の8段階に変速できます。
変速が入りにくいときは，主クラッチレバーを「入」にし，再度「切」にすると楽に入ります。



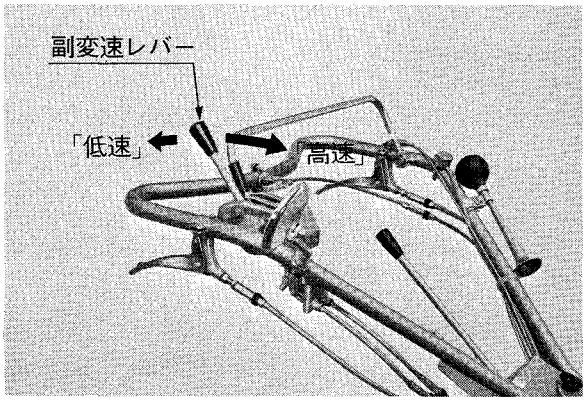


安全ポイント

湿田車輪など大径車輪を装着時の「後進」は危険ですから避けてください。もしやむをえず「後進」するときは，充分後方に注意の上，ハンドルが持ち上がらないようハンドルを押えながら行なってください。

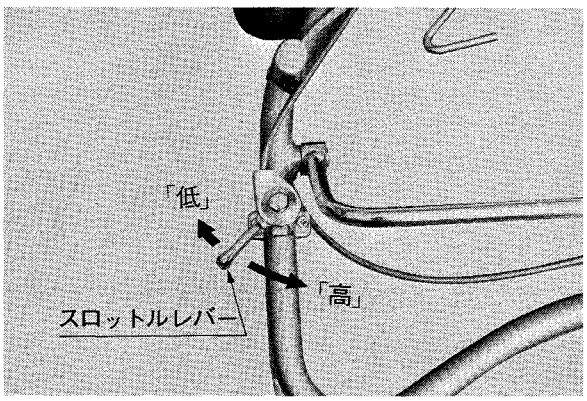
4.3　副変速レバー（オートクラッチレバー）

前方に倒すと副変速「高」に入り，手前に倒すと副変速「低」に入ります。
このレバーは主クラック「入」の状態でないと作用しません。



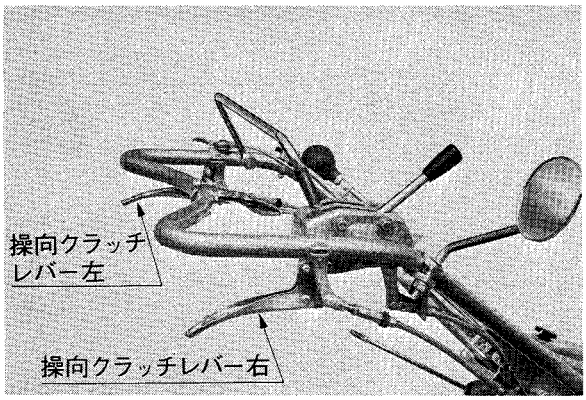
4.4　スロットルレバー

レバーを内側に回せばエンジン回転が高くなり，外側に回せばエンジン回転が低くなります。



4.5　操向クラッチレバー

左右おのおの別個に切って方向変更に使用します。
左側をいっぱい握ると左側の操向クラッチが切れ，左車輪の回転が止って左に旋回します。
同様に右側を握ると右に旋回します。
また両方を握ると両車輪の回転が止ります。

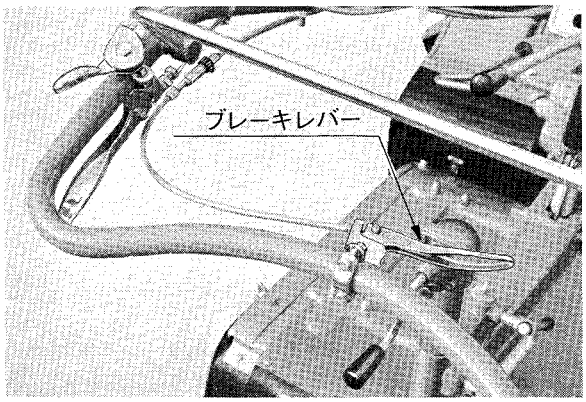


安全ポイント

坂道を運行している場合，またはトレーラ運搬の場合は，操向クラッチを切ると急激に機体の方向が変って，危険ですから使用しないで，ハンドルのみで操作してください。

4.6　ブレーキレバー (駐車ブレーキ)

レバーを握るとブレーキがききます。また，ロック金具を作用させますとレバーがロックされ，駐車ブレーキになります。

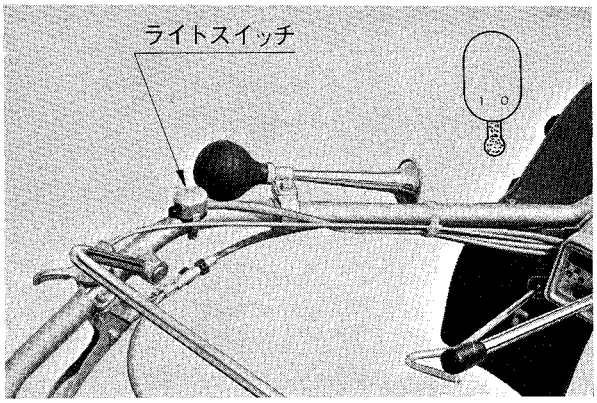


安全ポイント

このブレーキレバーは駐車ブレーキのため，路上走行中は使用しないでください。

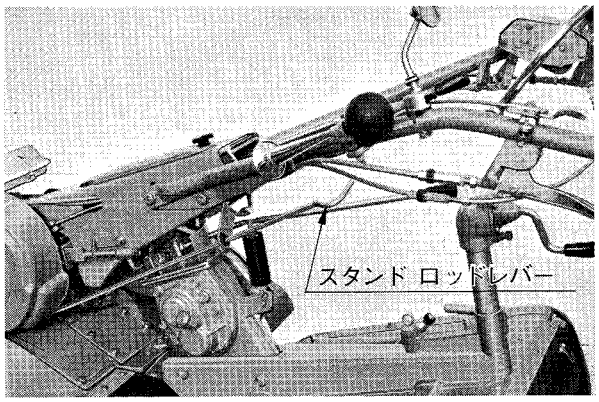
4.7　ライトスイッチ

0のマークでライトが消え，1で点灯します。



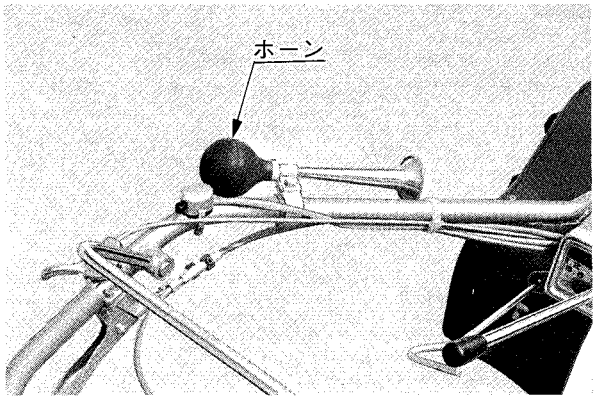
4.8　スタンドロッドレバー

手前に引くとスタンドが引っこみ，前方に押すとスタンドが立ちます。



4.9　ホ　ー　ン

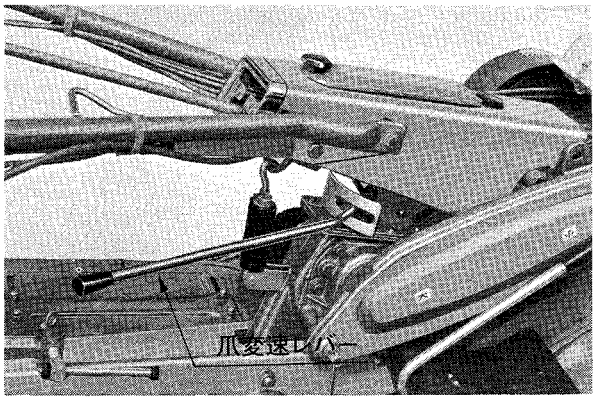
黒色のゴム部を手で握ると音が鳴ります。



4.10 爪変速レバー

〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

右に作動すると爪回転が「低速」となり，左へ作動すると「高速」になります。爪回転が不要な場合はレバーを「中立」の位置にしておいてください。
変速が入りにくいときは，主変速レバーを「中立」にして，主クラッチレバーを「入」にし，再度「切」にすると楽に入ります。



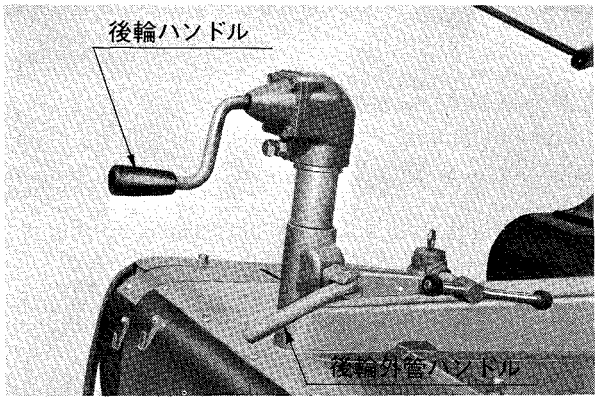
安全ポイント

爪変速レバーが作動している場合にはけん制装置の作用により，主変速レバーは「後進」に入りません。後進の場合には必ず爪変速レバーを「中立」にして爪回転が止っていることを確認のうえで行なってください。

4.11 後輪ハンドル

〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

右に回すと後輪が上り深く耕うんでき，左に回すと後輪が下がり耕うん深さが浅くなります。



4.12 後輪外管ハンドル

〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

後輪ハンドルは微量調節を行うものですが，これ以上の上下調節を行う場合に使用します。矢印ハンドルを左に回して外管締付け駒をゆるめて，外管を上下スライドさせて調節してください。

5. 運転のしかた

5.1 運転前の点検

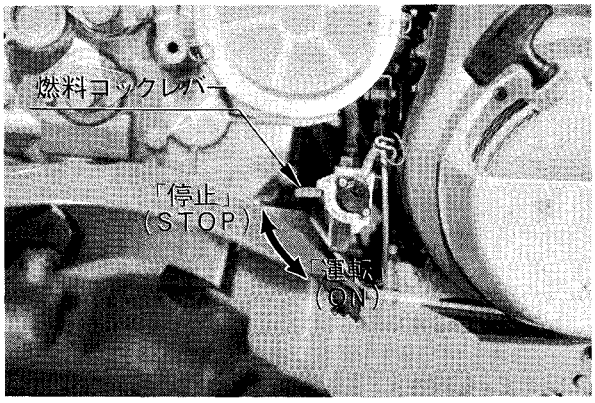
エンジン始動前には，仕業点検（毎日始動前の点検）を行なってください。

（13ページ参照）

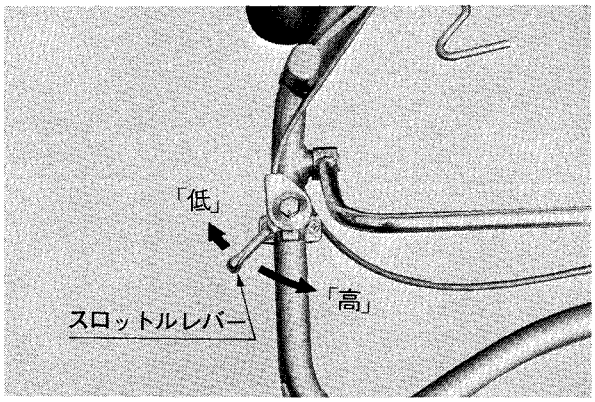
5.2 エンジンの始動

■エンジンの始動

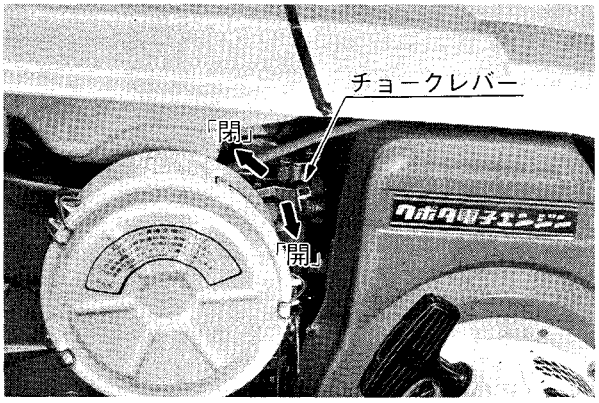
❶燃料コックレバーを下方（運転「ＯＮ」の位置）にします。



❷スロットルレバーを「高」，「低」の中間の位置にします。



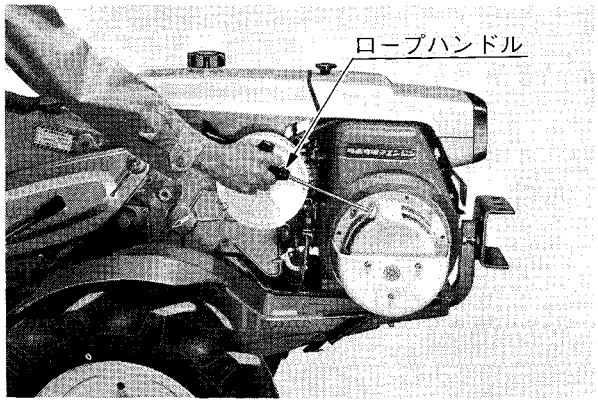
❸チョークレバーを全閉にします。



〔チョークの使い方〕

エンジンが冷えているときは，チョークレバーを全閉にします。
エンジンが暖かいときは，夏冬に関係なく，チョークレバーは操作しません。

❹リコイルスタータのロープハンドルを，少し引き，引掛りの手応えを確かめてから勢いよく引張ると，エンジンは始動します。エンジンが始動したらロープハンドルを静かに元へ戻してください。



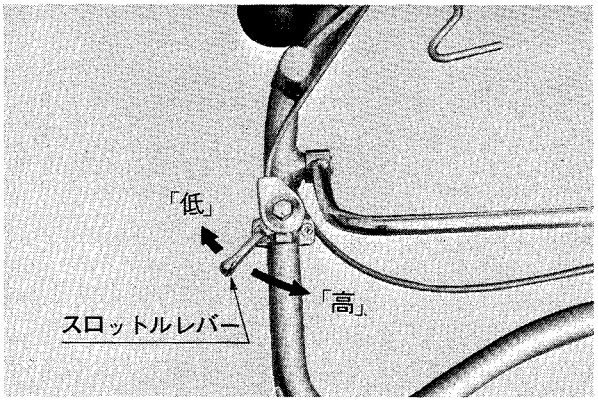
❺エンジン始動後エンジンの運転調子を見ながらチョークレバーを元へ戻してください。
（チョークレバーを全開にします）
２～３分空運転してから仕事にかかってください。

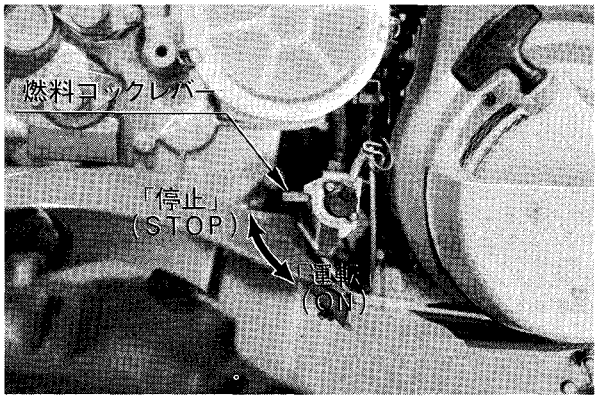
安全ポイント

(1)マフラの排気出口方向に，燃えやすいものがないか確認してください。
(2)リコイルスタータを引張る方向に人がいないか，突起物，障害物がないか確かめてから始動してください。
(3)エンジン運転中は，マフラに手を触れないでください。

5.3　エンジンの停止

❶エンジン回転を低速にしてください。
❷燃料コックレバーを停止（ＳＴＯＰ）の位置にします。





安全ポイント

エンジン停止直後は，マフラが熱くなっていますから手を触れないようにしてください。

保守点検編

快足テーラーを安全に調子
よく長持ちさせるには　13～17ページ

保守と調節　18～21ページ

6．快足テーラーを安全に調子よく長持ちさせるには

6.1　仕業点検（毎日始動前の点検）

故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
毎日始動前に，必ず仕業点検を行なってください。

1．前日使用の異常個所
2．快足テーラーの回りを歩いて，
(1)タイヤの空気圧，及び摩耗，損傷。
（21ページ参照）
(2)各部の油もれ。
(3)エンジンオイルの量及び汚れ。
（14ページ参照）
(4)ミッションオイルの量及び汚れ。
（15ページ参照）
(5)エアークリーナーエレメントのホコリの詰まり。
（16ページ参照）
(6)各部の損傷，及びボルト，ナットのゆるみ。
(7)各しゅう動部（主クラッチ，テンションアーム支点軸，ワイヤなど）にオイル切れがないか。

6.2　ならし運転
（最初の10アール使用まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ，無理をさせないようにしましょう。

6.3　各部のオイルの交換と点検

ならし運転が終りますと新しいオイルに入換えてください。オイルの交換時間は下表のとおりです。

【注意】

★エンジンオイルはエンジン各部を潤滑循環していますので，老化したままで使用しますと寿命が目立って短かくなります。オイルは良質のものを使用するのが経済的で，クボタ純オイル以外のオイルを使用しますとエンジン内部に色々な堆積（たいせき）物を作り出し，摩耗を早めます。

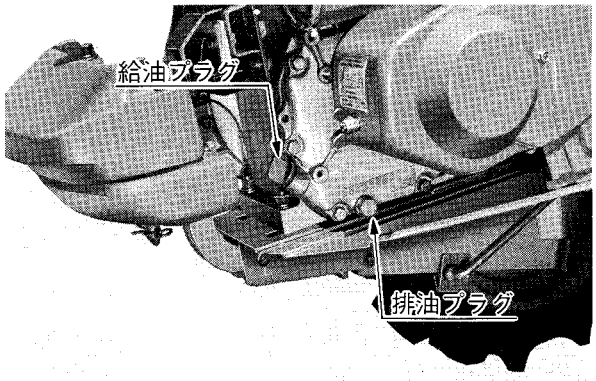
項　　目	第１回	そ　の　後	オ　イ　ル　の　種　類
エンジンオイル	20時間め	50時間ごと	クボタ純オイル（ガソリン／灯油エンジン用） 冬G20W20・夏G30，0.7～1.0ℓ
トランスミッションケース	50時間め	春，秋，おのおの使用前。	クボタ純オイルM90　約3.1ℓ
ロータリケース	50時間め	春，秋，おのおの使用前。	クボタ純オイルM90　約1.0ℓ
副チェーンケース	随時適量補充ください。 （補充を何回も繰返えしていると，ケース内にグリースが一杯になりますので，１年に１回はふたを開けて，点検してください。）		クボタチェーングリース又は良質のグリース適量

6.4　各部オイルの排出方法

新しくオイルを交換する場合は，まず各ケース内の旧油を排出しなければなりませんが，その際できるだけケース内のごみも同時に排出しなければなりません。そのためには運転使用直後，オイルが暖ったまって流動しやすい状態の内に，直ちに排出しましょう。ごみがオイルにまじった状態で排出できます。

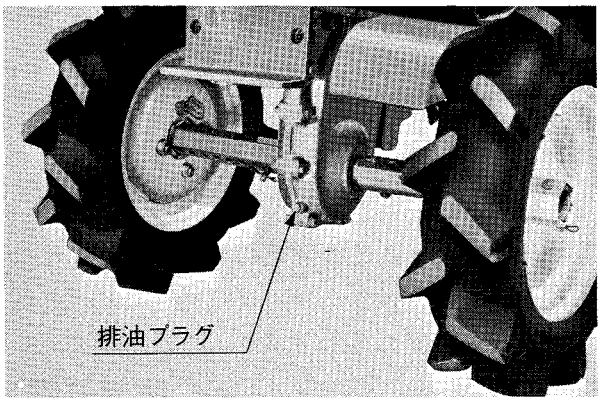
■エンジン・オイル

前スタンドを立てて，矢印の排油プラグを抜いて排出してください。



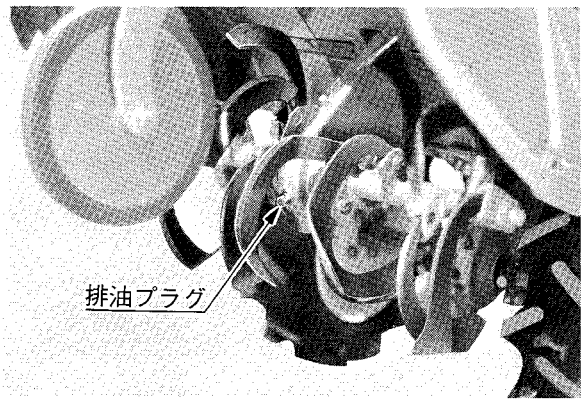
■トランスミッションケース

前スタンドを倒して機体を傾斜させ，トランスミッションケース下部の排油プラグを抜いて排出してください。



■ロータリチェンケース
〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

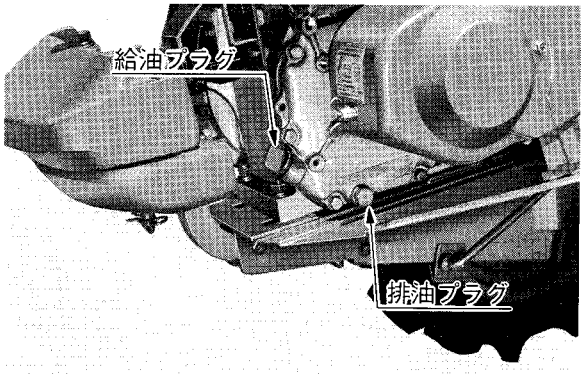
前スタンドを倒して機体を傾斜させると耕うん部が上がるので，この状態でロータリケース下部の排油プラグを抜き排出してください。

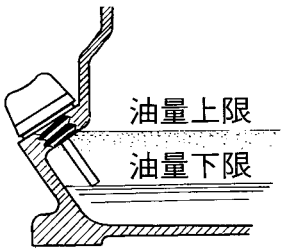


6.5　各部の給油と注油

■エンジンオイル

前スタンドを立てて，スタンドの下に台をかませ，機体を水平にして，クボタ純オイル（ガソリン・灯油エンジン用）冬G20W20・夏G30を，給油口の口元まで入れてください。(約1ℓ入ります)



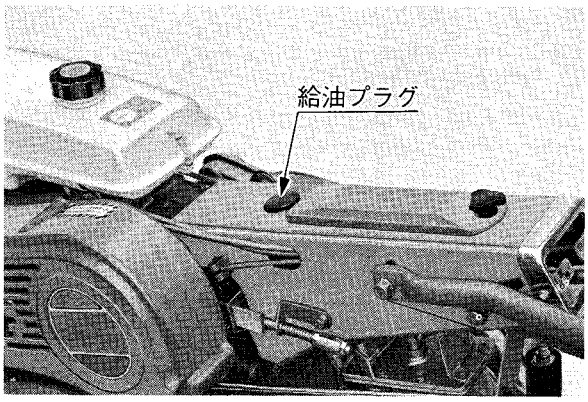


【注意】

★粗末なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますから，御購入店・農協でクボタ純オイルG20W20又はG30と指定のうえお求めください。

■トランスミッションケースの給油

機体を水平にして矢印給油プラグをはずし，クボタ純オイルM90を3.1ℓ給油してください。



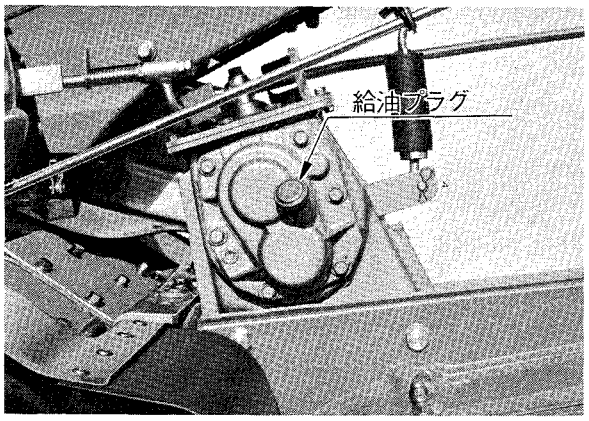
【注意】

★検油プラグから油があふれるまで給油しますと，約3.1ℓです。

■ロータリケース

〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

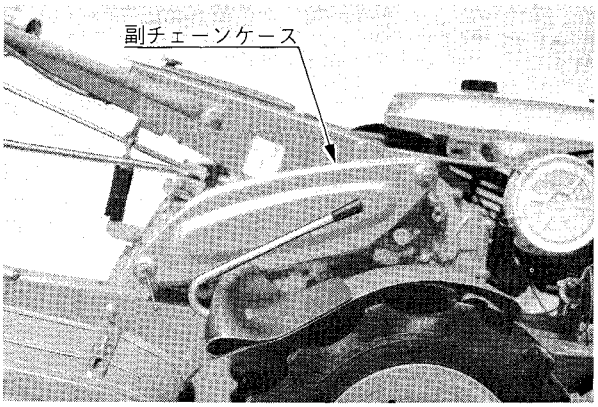
機体を前方へ倒して，ロータリケース矢印の給油プラグをはずし，クボタ純オイルM90を約1.0ℓ給油してください。



■副チェーンケース

〔(Z)T7ロータリ付きの場合〕

出荷の際にグリースを入れて出荷していますが，随時副チェーンケースカバーをはずし，チェーンにクボタチェーングリース，又は良質のチェーングリースを適量塗布してください。



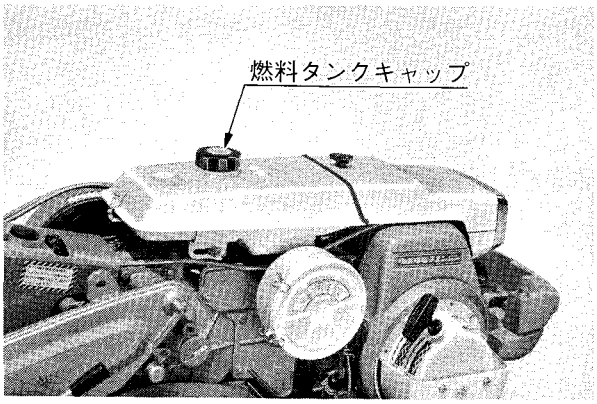
■燃料の給油

前スタンドを立てて機体を安定させ，燃料タンク給油口のキャップをはずし，ストレーナをとおして自動車用レギュラーガソリン（無鉛）を給油してください。

自動車用ガソリン以外は入れないでください。

【注意】

★燃料タンク内にごみや水が混入しないよう注意してください。



安全ポイント

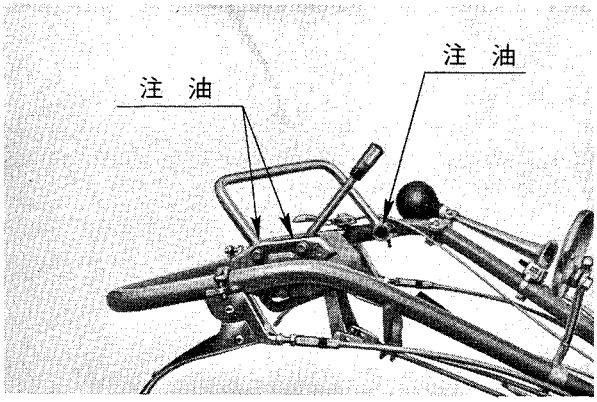
(1)給油中は，エンジンを停止してください。

(2)給油中は，火気厳禁。くわえ煙草での給油はしないでください。

(3)燃料がこぼれたときは布切れなどで拭きとってください。

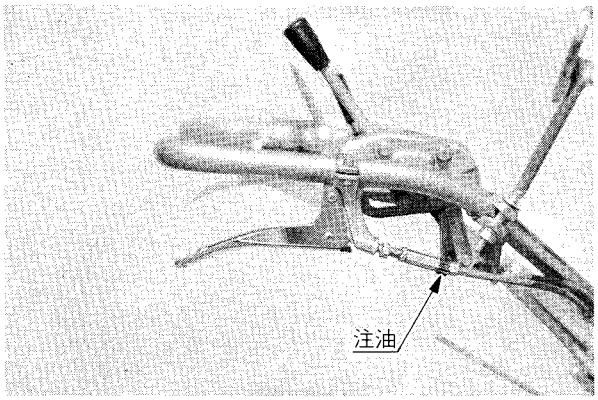
■主クラッチ及び副変速レバー支点の注油

主クラッチレバーと副変速レバーの作動を円滑にするため，主クラッチ及び副変速装置の作動軸に，クボタ純オイルG30を適量注油してください。



■各種ワイヤの注油

操向クラッチワイヤ，主クラッチワイヤ，ブレーキワイヤなどには，調節金具の箇所に注油口がありますから，クボタ純オイルG30を適量注油してください。

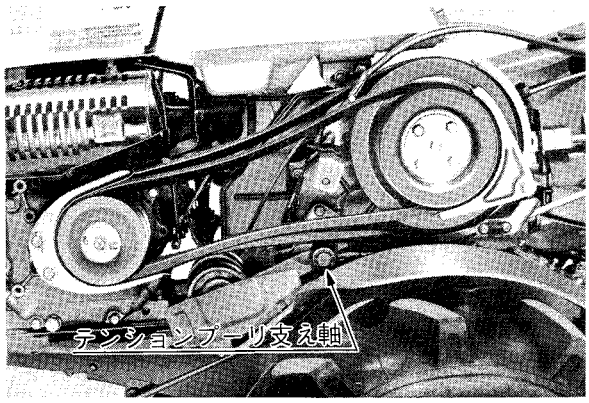


■テンションプーリ支え軸の注油

テンションプーリの作動をよくし，主クラッチの「入」「切」を円滑に行うため，テンションプーリ支え軸にクボタ純オイルG30を適量注油してください。

安全ポイント

(1)ベルトカバーを取りはずした場合は，必ず取付けてから作業をしてください。
(2)ベルトカバーをはずしたままエンジンを始動しないでください。



■その他のしゅう動部

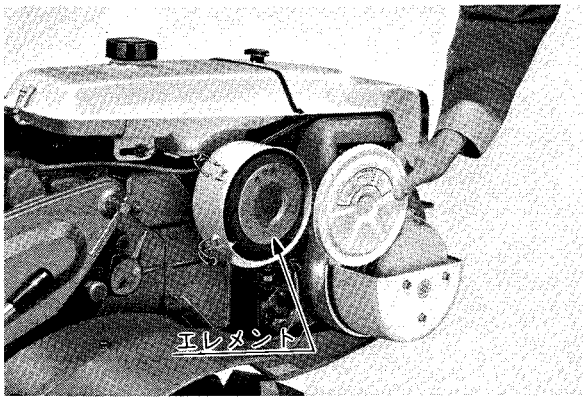
その他接合部など各しゅう動部分には，クボタ純オイルG30を適量注油してください。

6.6 使用後の清掃

使用後は必ずその日のうちに清掃を行ない，各部に付いている土やごみなどを洗い落すようにし，水洗後は必ず水をふき取り，摩擦しゅう動部はさびないように油を塗布してください。
特にファンカバーを随時はずして冷却フイン部の掃除を行なってください。
冷却フィン部にごみや泥が詰まりますとエンジンが冷却不足となり，焼付きなどの事故を起すことがあります。
防水カバーは随時はずして，ごみや泥が詰まらないよう掃除を行なってください。

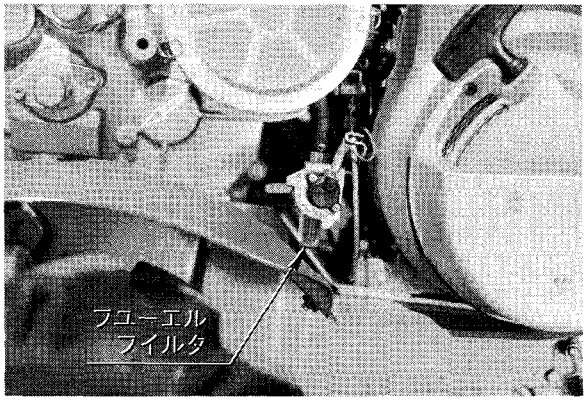
6.7 エアークリーナの清掃

❶乾いたホコリなどが付着しているときは，エレメントの端板を軽くたたいて落としてください。
❷ススや油分が付着しているときは，中性洗剤で洗ってから清水ですすぎ，充分自然乾燥させてください。



6.8　フューエルフィルタの清掃

フィルタ内に水やゴミがたまっているときは，フィルタポットをはずし洗浄（灯油）してください。洗浄後の取付けは，ガソリン洩れのないよう完全に締付けてください。



6.9　長期格納時の手入れ

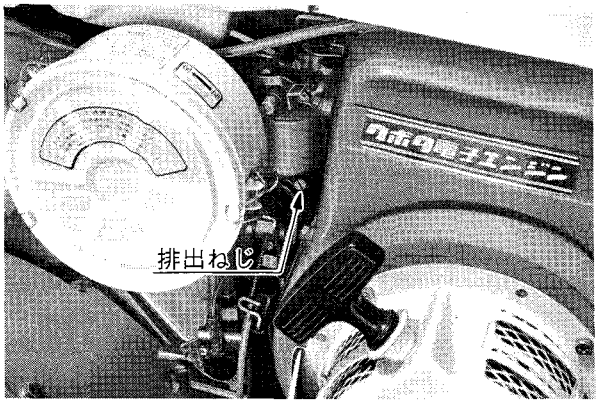
使用後の清掃と同じく各部に付着している泥やごみを水で洗い落し，各部の水分は乾いた布などで充分にふき取り，摩擦しゅう動部および塗料のはがれたところなどには，さびないように油脂を塗布してください。その他次の事項について手入れしてください。

■圧縮位置で止めておく

リコイルスタータの始動ロープを引張って，圧縮のある位置で止めておいてください。

■燃料の抜き取り

使用後，燃料をそのままにしておきますと，燃料タンクや気化器内のガソリンが気化して，次の始動が困難になることがあります。気化器内のガソリンは矢印の排出ねじをゆるめて抜取り，燃料タンク内はパイプなどを使用して全部抜取ってください。



安全ポイント

燃料がこぼれたときは，すぐに布切れなどでふきとってください。

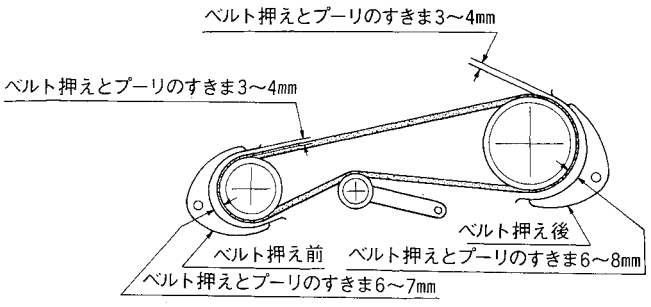
7. 保守と調節

7.1 主クラッチの調節

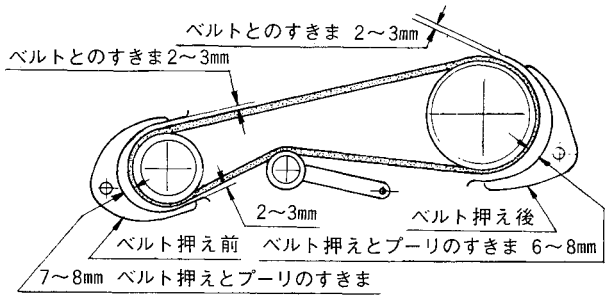
主クラッチレバーはエンジンプーリと主軸プーリ間のVベルトを，テンションプーリで引っ張り，エンジンからの動力を機体内に伝達したり，しゃ断したりするもので，運転操作の源となるレバーです。
運転の場合にエンジンの動力を充分に伝達し，又停止の場合は確実に停止するように，次の事がらについて調整してください。

■ベルト押えの調節

主クラッチを入れた状態で，ベルトと上下ベルト押えの間隔を下図のように調節してください。



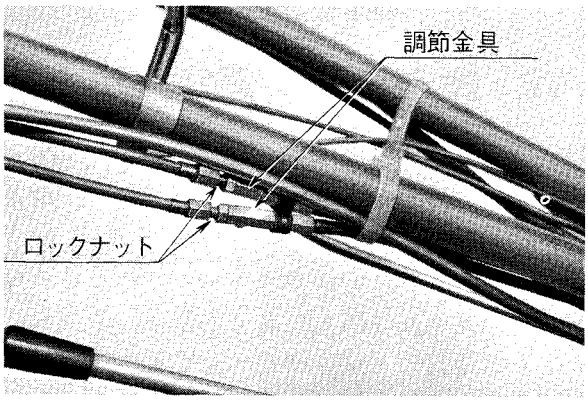
〔(Z)T5の場合〕



〔(Z)T7の場合〕

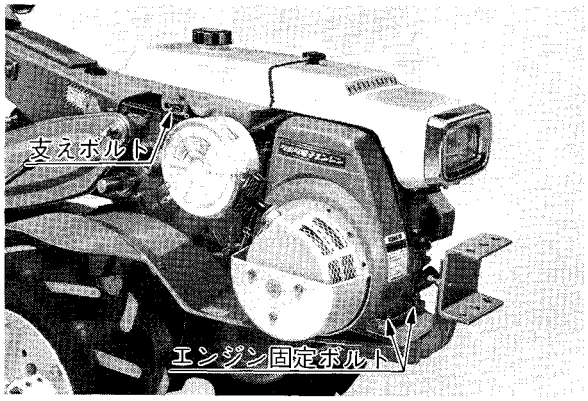
■主クラッチワイヤ

副変速レバーを入れてもベルトがスリップする場合，又副変速レバーが重すぎる場合などには，主クラッチワイヤの調節金具でベルトの張り具合を調節してください。ベルトがスリップする場合は調節金具を長く副変速レバーが重すぎる場合は調節金具を短くしてください。
ベルトの張り具合は，主クラッチを入れた状態でベルト中央部を指先で押えて約1cmたわむ程度に調節してください。



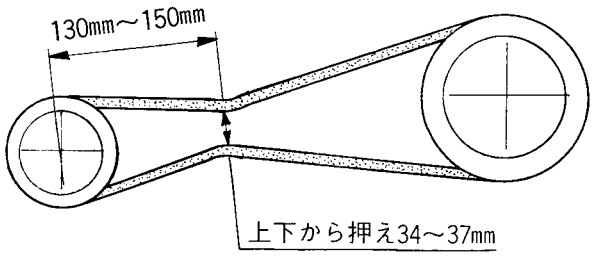
■エンジン前後によるベルトの調節

ベルトが伸びたり，又は新しいベルトを取換えた場合などにおいて，主クラッチワイヤやベルト押え金具で主クラッチの調節ができない場合は，エンジンを前後に移動調節できますので，エンジン固定ボルト4本と，燃料タンク下部の燃料タンク支えボルトをゆるめて調節し，調節後は確実にボルトを締付けてください。



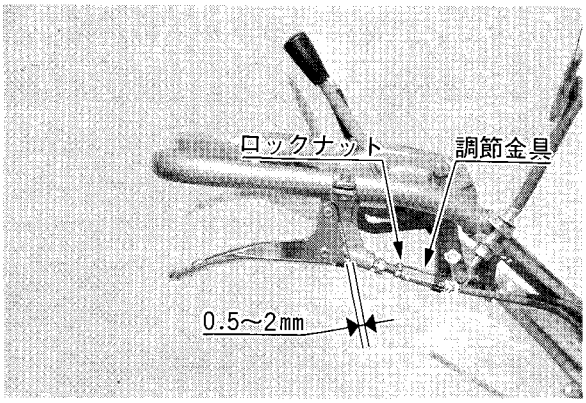
■新しいベルトを交換する場合

新しいベルトを交換する場合は高・低２本のベルトを同時に交換し，ベルトのたわみ代はエンジンプーリ側から約130～150mmの位置で34～37mmになるよう，エンジンを移動させて調節してください。



7.2　操向クラッチの調節

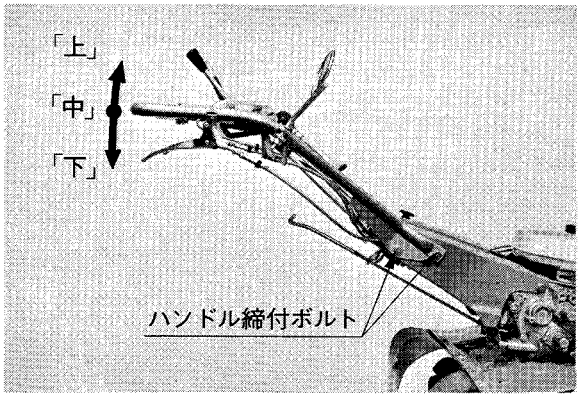
操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，又操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は，次の要領で調節します。切れにくいときは調節金具のロックナットをゆるめ，金具を左に回して長く引出し，入りにくいときは右にねじ込んで短くしてください。



確実に調節するには，操向クラッチが完全に入っていることを確認して，レバーの遊びが図のように0.5～2mm程度に調節します。調節後は調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

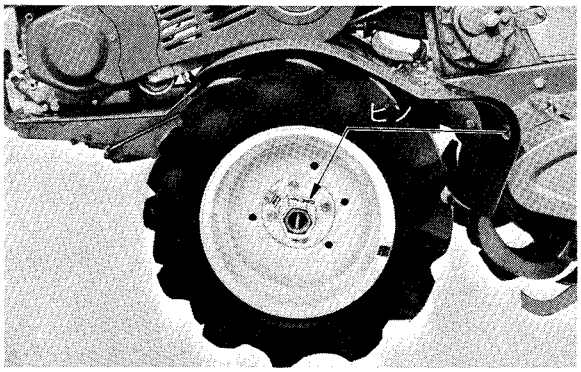
7.3　ハンドル上下調節

ハンドルはアタッチメントの種類，使う人の身長に合わして上下調節ができます。上下調節は矢印左右ハンドル締付けボルトをゆるめ使用しやすい位置に調節して締付けてください。



7.4　車輪間隔調節と車輪交換

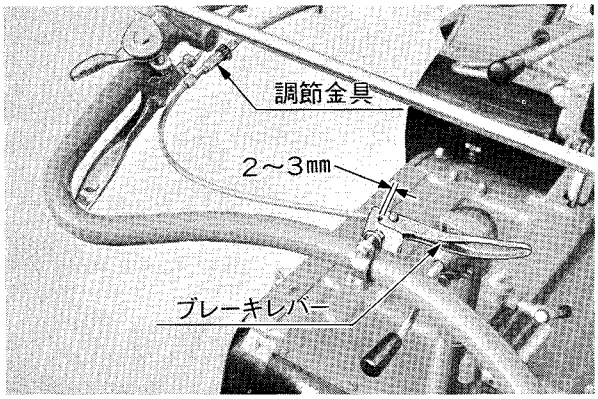
作業条件に応じて適当な車輪間隔調節と，車輪交換は次のとおり行います。
車輪ハブと６角ホイルチューブは，ピン一本を通して取付けてありますので，ホイルチューブピンを抜いて車輪間隔の調節や，交換を行なってください。



7.5　ブレーキの調節

ハンドル中央部のレバーを握り，ロック金具を作用させると駐車ブレーキになりますが，ブレーキがききにくい場合は，次の要領で調節してください。

調節金具のロックナットをゆるめ左に回して長く引き出し，確実にきくことを確認します，調節後は調節金具のロックナットを確実に締付けてください。



7.6　ロータリけん制装置の調節

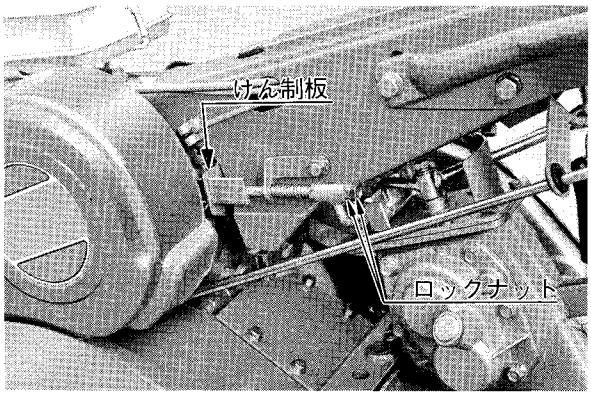
〔(Z)T７ロータリ付きの場合〕

ロータリの爪変速と後進変速に安全装置をもうけてあります。

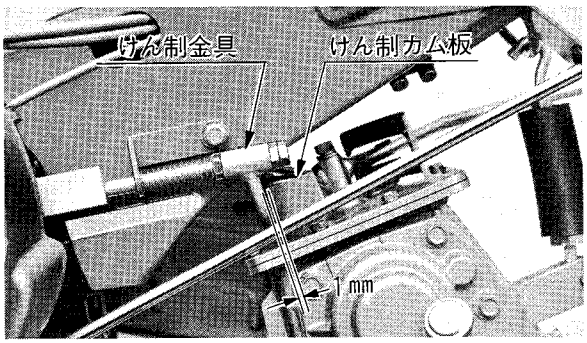
爪変速が「低速」「高速」に入っているときは「後進」に入りません。

主変速が「後進」に入っているときは爪変速は「低速」「高速」に入りません。

取りはずしたロータリを再び装着する場合は，変速けん制装置が作用するよう次の要領で調節を確実に行なってください。



ロータリ装着後，爪変速レバーが中立の位置でけん制カム板とけん制金具のすきまが約１㎜になる位置にけん制金具をロックナットで固定してください。



【注意】

★けん制カム板の支点軸には随時注油してください。

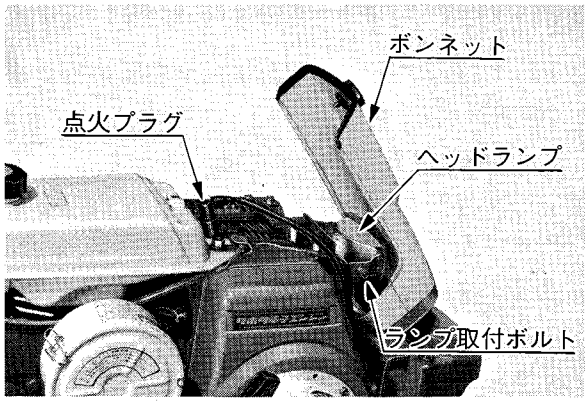
安全ポイント

調節後はけん制装置が作用しているか爪変速レバーを２～３回作動させ確認してください。

7.7　ヘッドランプ照射角度の調節

作業に応じてヘッドランプの照射角度の調節を行なう場合は，ボンネット締付け用マスコットボルトをゆるめ，ボンネットを前方へ開いて，ボンネットステーに取付けてあるランプ取付けボルトをゆるめて，上下に動かし，お望みの角度に調節してください。

調節後は，取付けボルトは確実に締付けてください。



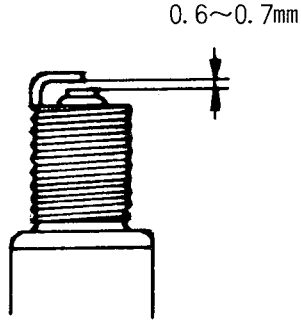
安全ポイント

(1)必ずエンジンを停止して行なってください。

(2)路上走行時は他の走行の支障にならないよう，主光軸は必ず下向き照射になるようにしてください。(道路運送法車輌法の保安基準第32条による)

7.8　点火プラグの調節

ボンネット締付け用マスコットボルトを抜いてボンネットを開き，プラグ用ボックススパナでプラグをはずして，電極間隔を0.6～0.7㎜に調節してください。
なお，調節は6カ月に一回点検調節してください。



【注意】

- 締付け時は，はじめ手でねじ込んでからボックススパナを使用してください。はじめからボックススパナで締込むと，ねじ山をつぶすことがありますので注意してください。

7.9　タイヤの空気圧

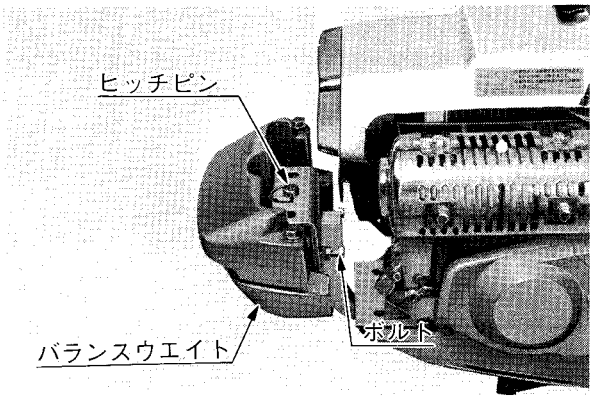
タイヤの空気圧は出荷時規定圧力（1.2kg／cm）に入れておりますが，長期間たつと自然に減圧しますので，不足の場合は空気を入れてください。
空気入れはエアーコンプレッサか高圧手押しポンプを用いてください。

適正な空気圧は 1.2 kg／cm²です

空気圧が高すぎても低すぎてもタイヤの寿命を縮めますから，定期的に空気圧を調べて，適正になるよう調節してください。
なお，空気入れ用のバルブチャック，圧力ゲージは市販されております。

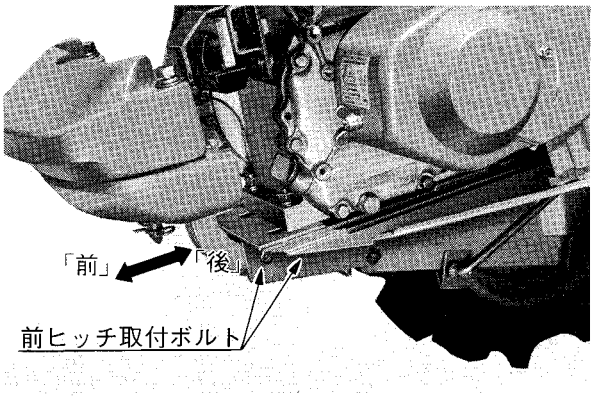
7.10 バランスウエイト

（Z）T 7にはバランスウエイト2個，（Z）T 5にはバランスウエイト1個が，それぞれ前ヒッチピンと，2本のボルトで取付けていますので，アタッチメントや作業条件によって，バランスを調節してください。



7.11　前ヒッチ前後調節

アタッチメントや作業条件によりバランスの調節が必要な場合，前ヒッチ取付ボルト2本をはずし前ヒッチを前後に移動させ，バランスの調節をしてください。



ロータリ編

〔(Z)T5用ロータリの説明書は別にあります〕

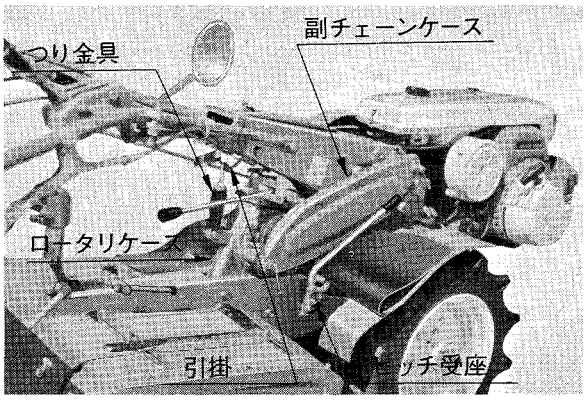
ロータリ装置　23～27ページ

8. ロータリ装置〔(Z)T7用〕

8.1 ロータリの取付け

❶ロータリのヒッチ受座をなるべく水平にします。

❷副チェンケースとロータリケースは組付けたままにしておき，ロータリつり金具をハンドル下方に引掛け，ロータリのヒッチ受座を，本機ヒッチの下面にのせます。

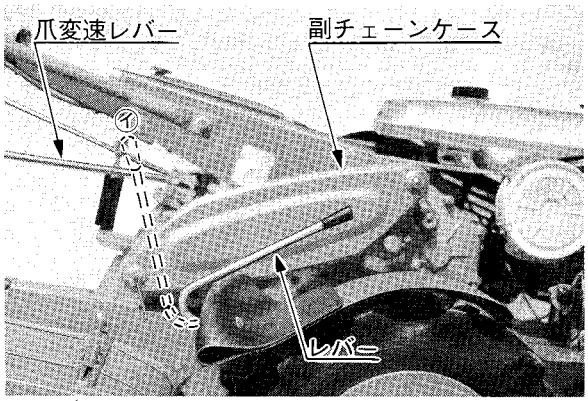


【注意】

★ロータリ部を取付けるとき，レバーは必ず㋑の位置にしておいてください。

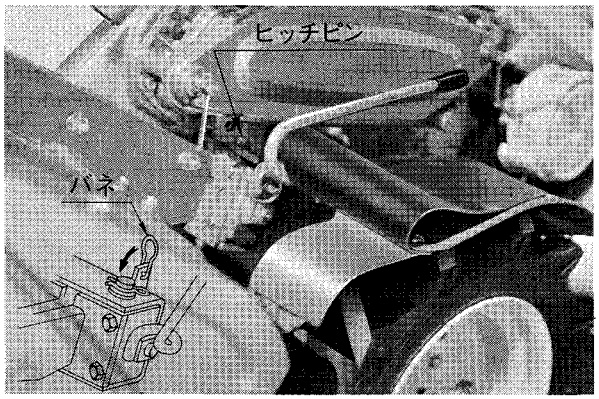
❸機体を前にたおし，ミッションケースの伝動軸に副チェンケースのスプロケットをはめ込みます。

スプラインみぞが合わない場合は無理に押し込まずに，爪変速レバーを入れ，爪軸を回しながらスプラインみぞを合せて組付けてください。

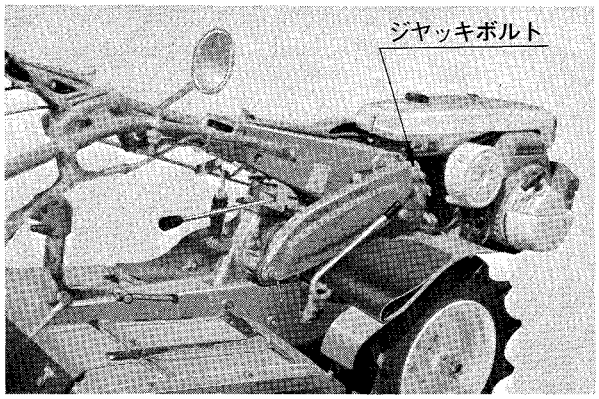


❹本機ヒッチとロータリのヒッチ受座の穴を合わせ，ヒッチピンをさし込みます。

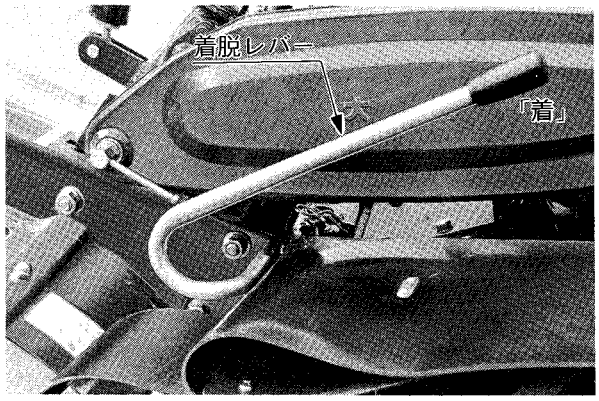
ヒッチピンが完全に入った状態で，ヒッチピン上面をバネで押えてください。

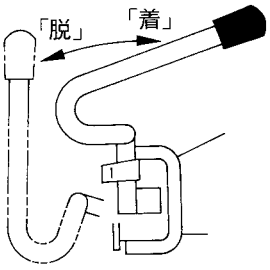


❺副チェンケースのジャッキボルト（ミッションケース側）を締付けます。



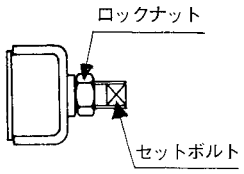
❻ロータリ着脱レバーを「着」の位置にセットしてください。これでロータリの取付けは完了です。





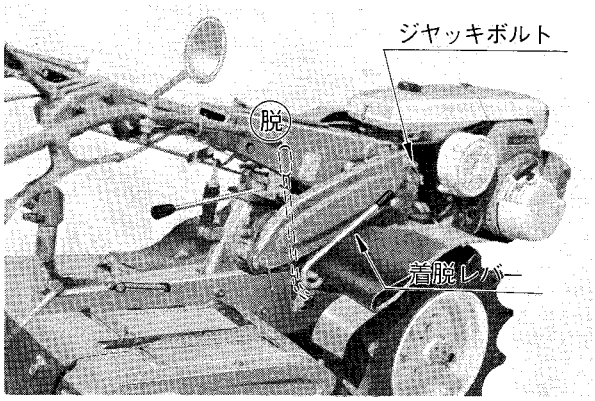
安全ポイント

出荷時，十分な調整を行なっていますが，ロータリ部を取付けた状態でロータリ部全体がガタつく場合は，図のロックナットをゆるめて，セットボルトを多少（$\frac{1}{4}$～$\frac{1}{2}$回転程度）増締めしてロックしてください。(左右２カ所) 又，レバーが重くて作動しない場合は逆にセットボルトを多少（$\frac{1}{4}$～$\frac{1}{2}$回転程度）ゆるめてロックしてください。(左右２カ所)



8.2 ロータリの取りはずし

❶前スタンドを立て，副チェンケースのジャッキボルト（ミッションケース側）をはずし，スナップピン（ヒッチピン用）を抜き，ロータリ着脱レバーを「脱」の位置にし，ハンドルを上下に動かすと，ヒッチピンが下に抜けます。



❷後輪外管又は副チェンケースを持って，伝動軸から副チェンケースをはずし，ロータリつり金具をハンドル下方からはずすと，ロータリがはずれます。

安全ポイント

(1)ロータリの取付け，取りはずしは平たんな広い場所で行なってください。

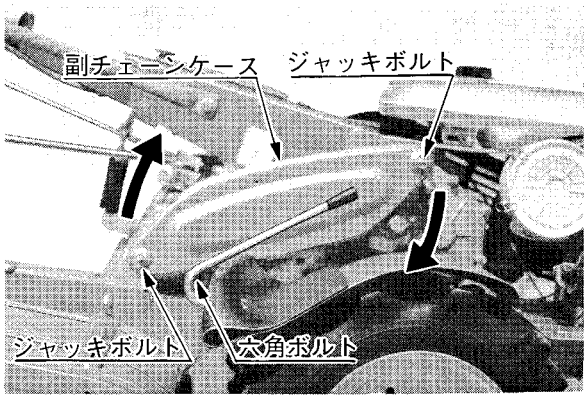
(2)ロータリを取りはずしたあとは，伝動軸にグリースを塗布した後，カバーを取付けておいてください。

(3)ロータリ装着用のヒッチピンはトレーラ作業に使用しないでください。トレーラ装着用のヒッチピンは付属品箱に入っています。

8.3 副チェンケースの前後入換え

爪変速レバーで低速，高速と変速できますが，作物の栽培上更に，爪変速を必要とする場合は，副チェンケースを前後に入換えてください。(爪軸回転速度は35ページ参照)

❶ジャッキボルト２本，六角ボルト１本をはずしてください。



❷副チェンケースを伝動軸からはずします。

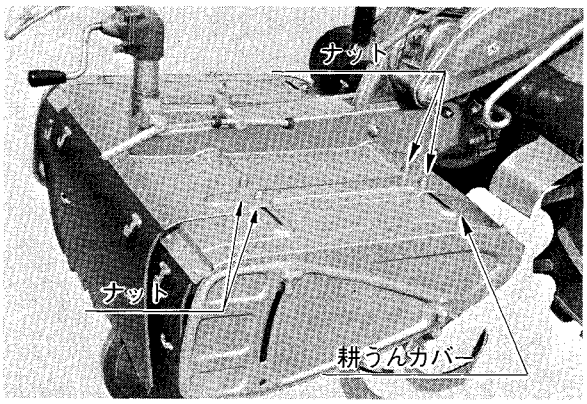
❸副チェンケースを前後にひっくり返し，伝動軸に組付け，ジャッキボルト２本，六角ボルト１本を締付けてください。

【注意】

副チェンケースカバーに「大」「小」の浮き出し文字があります。「大」がロータリケース側にあるときは爪回転が低速になり土かいが大きくなります。「小」がロータリケース側にあるときは爪回転が高速になり，土かいが小さくなります。

8.4　耕うんカバーの出し入れ

継足し爪軸を取付けて広幅耕うんを行なうときは，耕うんカバー取付けの調節用ナットをゆるめ，外に引き出し広くして使用してください。

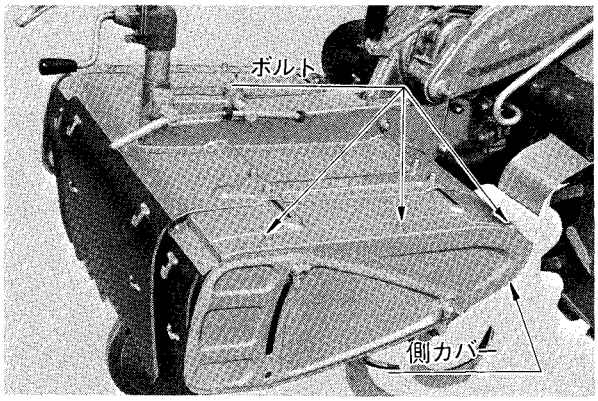


安全ポイント

●エンジンを止めて行なってください。

8.5　側カバーの取りはずし

ロータリプラウ，ラセンスキ，うね立て爪などを取付け，耕うん幅を60cm以上にする場合は，取付けボルトをはずし，側カバーをはずして使用してください。



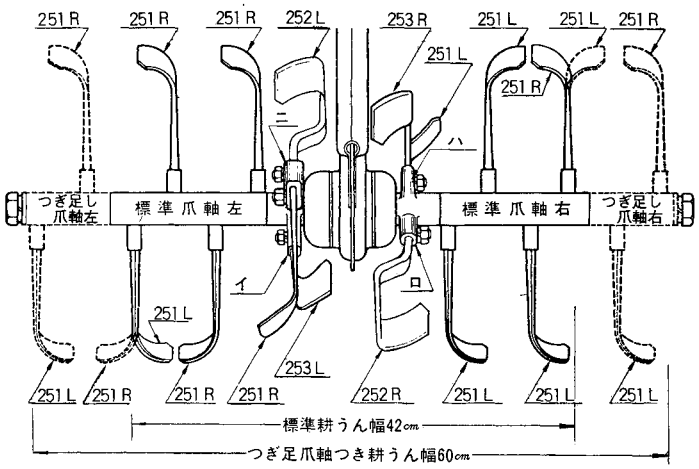
安全ポイント

●エンジンを止めて行なってください。

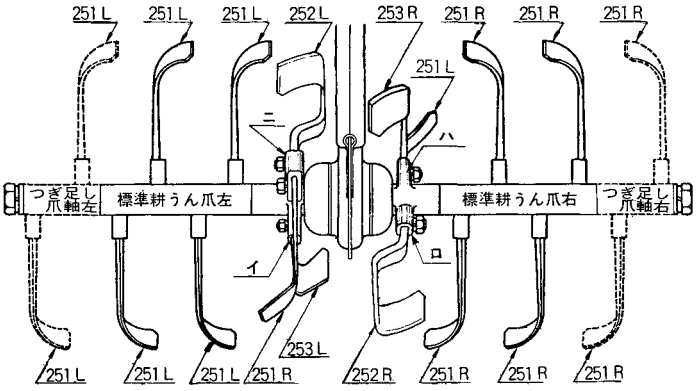
8.6　耕うん爪の取付け方

耕うん爪は作業方法に合わせて爪軸ブラケットと耕うん爪の番号を合わせてまちがいのないよう取付けてください。

■平面耕うん，うね立て，うねくずしの場合

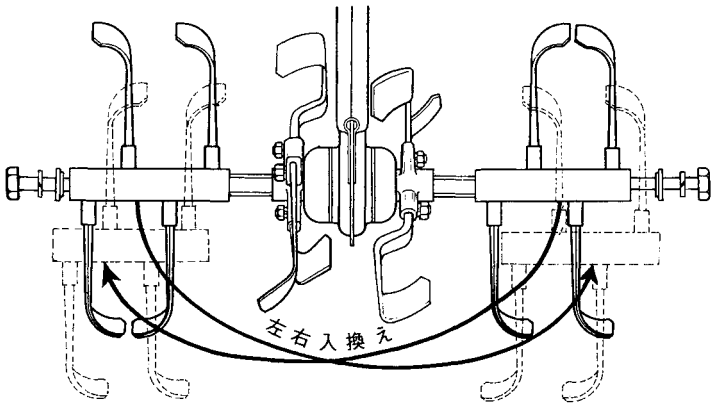


■内盛耕うんを行う場合

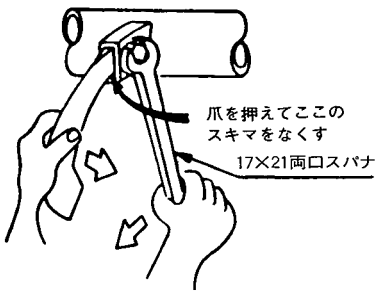


■耕うん爪の内向き，外向きの取換え方

爪軸は分割式になっています。爪を内向き外向きに取換えの場合は，左右爪軸に爪を付けたままで抜取り，赤色の合マークが爪軸上に一直線になるように，左右入換えると簡単に行なえます。



■爪の取付け方



【注意】

(1)いずれの耕法においても，必ず決められた爪を使ってください。

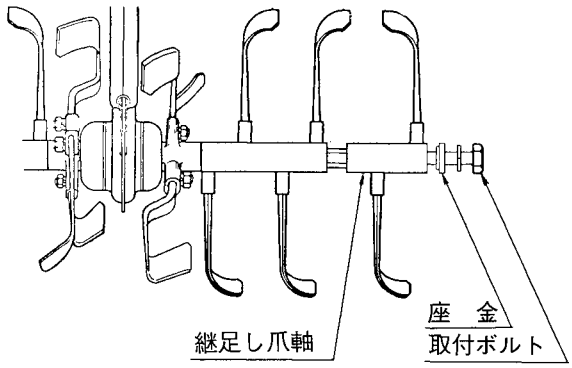
(2)爪を抜いて作業をすると，爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので御注意ください。

安全ポイント

爪を交換したり，増締めするときは①機械を平たんな広い場所に置き，②エンジンを止め，③駐車ブレーキを掛け，④安全を充分に確かめてから行なってください。⑤更に爪軸の下に木の台などをしておくとより安全です。

8.7 継足し爪軸の取付け方

耕うん幅は標準42cmですが，出荷別標準により60cmの継足し爪軸が付属しているものもあります。取付けは次のように行なってください。
左右の爪軸締付けボルトを抜取り，爪軸スリーブを挿入し，次に継足し爪軸を取付け，先に締付けていた締付け座金と，付属の長い継足し爪軸取付けボルトで，確実に締付けて取付けてください。



【注意】
★爪軸には赤色の合マークが付けてありますので，一直線になるように取付けてください。

安全ポイント

●エンジンを停止して行なってください。

8.8 後二輪の取付け方

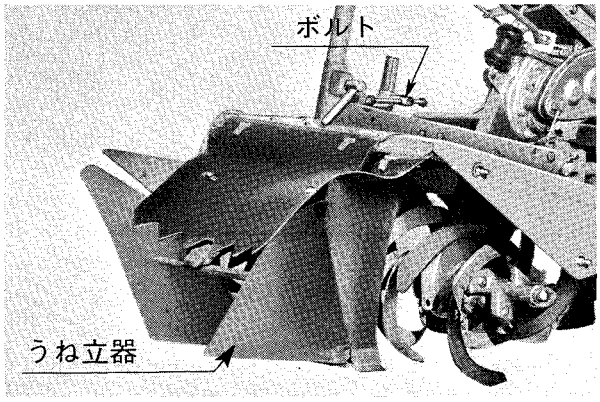
出荷別標準によって付属しているものと，付属していないものとがありますが，取付け方は次のように行なってください。
後輪ハンドルを左に回して後一輪を外管から抜取り，後二輪固定棒をうね立て取付け穴に取付け，後二輪の内管に差し込み，後輪ハンドルを右に回して上方に上げていきます。後二輪の前方の固定棒がうね立て器取付け穴に，確実に入るように注意しながら行なってください。

安全ポイント

●エンジンを停止して行なってください。

8.9 うね立器の取付け方

出荷別標準によって付属しているものと，付属しないものとがありますが，取付け調節は次のように行なってください。
まず機体を前方に倒しハンドル部をもち上げ，写真のようにうね立器の軸を耕うんカバー下方からうね立器取付け穴に通し，取付けボルトで締付けます。

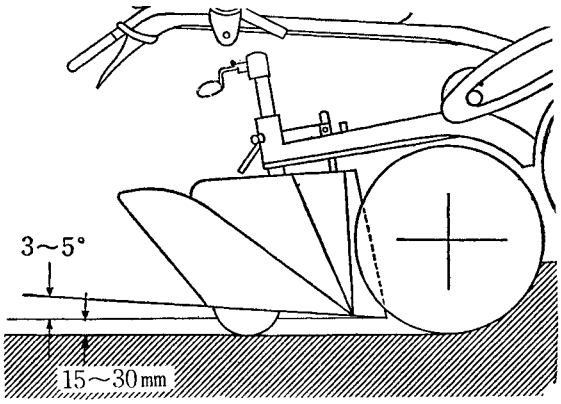


安全ポイント

●エンジンを停止して行なってください。

8.10 うね立器の調節

うね立て作業においてゴム車輪，大径鉄車輪などによる取付け角度，取付け位置及び高さの調節は図のとおり行なってください。



付　　表

アタッチメント　29～33ページ
主要諸元　34～35ページ
クボタ純オイル　36ページ
型式認定外観図　37～38ページ

9. アタッチメント

(Z)T5・(Z)T7快足テーラの作業性能を充分に発揮させるためには，土地条件及び作業方法に合ったアタッチメントを選ぶことが大切です。当社では数多くの各種アタッチメントを用意しておりますから，田畑の条件や作業目的に応じたものをお選びの上で御使用願い，作業を楽に能率よく行なってください。

純正アタッチメントは充分な試験と研究を経て製作されていますので，アタッチメントをお買い求めの際は，必ず ㊙ マークと品番の入ったものをお求めください。㊙ マークのない社外品を御使用になって性能上の御不満や，万一の故障についての御相談には応じかねることがございます。

(Z)T5・(Z)T7用の主なアタッチメントは次のとおりです。

9.1 パイプ車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
55パイプ車輪完備	920555－031－4	外径55cm	T55 (Z)T55-2 T70 T50 T65
60パイプ車輪完備	920560－031－4	外径60cm	
65パイプ車輪完備	920565－031－4	外径65cm	
55パイプ車輪2形完備	920555－041－4	外径55cm 上記パイプ車輪よりもけん引力が大きい	
60パイプ車輪2形完備	920560－041－4	外径60cm	
65パイプ車輪2形完備	920565－041－4	外径65cm	

9.2 三角フロート車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
60三角フロート車輪完備	920860－014－1	外径60cmストレート形	T55 (Z)T55-2 T70 T50 T65
65三角フロート車輪完備	920865－014－1	外径65cmストレート形	
70三角フロート車輪完備	920870－018－1	外径70cmアサガオ形	
75三角フロート車輪完備	920875－018－1	75cmアサガオ形	

9.3 水田車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
65水田車輪角ハブ完備	920665－014－1	外径65cmアサガオ形テーパハブ	T55 (Z)T55-2 T70 T50 T65
70水田車輪角ハブ完備	920670－012－1	外径70cmアサガオ形テーパハブ	
501水田車輪角ハブ完備	920660－011－1	外径60cmテーパ形平行ハブ	
502水田車輪角ハブ完備	920665－015－1	外径65cmテーパ形平行ハブ	

9.4 湿田車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
70湿田車輪角ハブ完備	930670－018－1	外径70cmアサガオ形	T55 (Z)T55-2 T70 T50 T65
75湿田車輪角ハブ完備	930675－014－1	外径75cmアサガオ形	
70袋湿田車輪角ハブ完備	930870－013－1	外径70cmアサガオ形	
75袋湿田車輪角ハブ完備	930875－014－1	外径75cmアサガオ形	

9.5 代かきカゴ車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
２１１代かきロータ完備	９２１６００－０３１－２	外径４５cm取付け幅　９３．６cm	Ｔ５５ (Z)T55-2 Ｔ７０ Ｔ５０ Ｔ６５
２１２代かきロータ完備	９２１６００－０３２－１	外径４５cm取付け幅１０３．６cm	
２１３代かきロータ完備	９２１６００－０３３－１	外径４５cm取付け幅１２５．４cm	
草判代かきロータ完備	９２１６００－０３４－１	外径３８cm取付け幅　８８．１cm	
２１４カゴ車輪完備	９２０４４２－０１１－１	外径４２cm取付け幅　９２．５cm	
２１５代かきロータ完備	９２１６００－０３５－１	外径４５cm取付け幅１２７．２cm	
２１６双子ロータ完備	９２１６００－０３９－１	外径４５cm取付け幅１１８．２cm	

9.6 湿田，田打ちロータ類

品名	品番	仕様	兼用機種
２５５湿田ロータ完備	９２１６１０－０３２－１	外径４５cm取付け幅１３０．５cm	Ｔ５５ (Z)T55-2 Ｔ７０ Ｔ５０ Ｔ６５
２５４湿田ロータ完備	９２１６１０－０３１－３	外径４５cm取付け幅１３０．５cm	
２５３湿田ロータ完備	９２１６１０－０２１－１	外径４５cm取付け幅１５１．８cm	
２５１田打ちロータ完備	９２１６１０－０３５－１	外径５０cm取付け幅１１１．０cm	
２５２田打ち車輪完備	９２１６１０－０３６－１	外径５０cm取付け幅１２５．０cm	

9.7 レーキ，ハロー類

品名	品番	仕様	兼用機種
スプリングレーキ完備	９２２７０１－０１９－１	全幅１２０cm	テーラー 全　般
延長スプリングレーキ完備	９２２７０１－０２１－１	全幅１２０cm　（延長分のみ）	
整地板付スパイクハローＣ	９２２７０１－０１１－２	全幅１００cm	
スパイクハローＣ	９２２７０１－１０１－６	全幅１００cm	
ロータリスプリングレーキ完備	９２２７０１－０２１－１	全幅　７６cm	新採用

9.8 サポート，ヒッチ類

品名	品番	仕様	兼用機種
調節式サポートＢ	９２３１６０－０１１－１		テーラー 全　般
サポート	９２３１６０－０１２－４		
延長ヒッチ	９２３１６０－０１３－１		
ユニバーサルヒッチ完備	６２１８２－５２６０－１		

9.9 代かき装置

品名	品番	仕様	兼用機種
代かき装置	９４２７２０－０１１－２	全幅１８０cm	テーラー 耕うん機 全　般
ライドレーカ	９２２７３０－０１１－４	全幅１３０cm	

9.10 ロータリ関係

品名	品番	仕様	兼用機種
特殊代かきロータリ完備	921921－021－1	外径30cm　全幅116cm	T55 (Z)T55-2 T70

9.11 耕起ロータ類〔(Z)T5用〕

品名	品番	仕様	兼用機種
ニュー10連ワンダーロータ完備	921520－052－2	外径46cm　取付け幅117.2cm	T55
ニューワンダー湿田完備	921520－054－1	外径46cm　取付け幅117.2cm	(Z)T55-2
角ロータ	921560－018－1	外径46cm　取付け幅109.4cm	T50
延長角ロータ	921560－019－1	外径46cm　取付け幅146.4cm	

9.12 すき類

品名	品番	耕うん幅	耕深	兼用機種
松山双用一段すき	922411－001－3	20cm	18cm	
松山湿田双用一段すき	922411－014－1	18～24cm	10～18cm	
松山田畑双用2段すき	922421－001－3	18cm	18cm	T50
松山双用2段すき	922421－004－1	20～25cm	15～20cm	T55
高北乾湿田兼用すき	922412－010－2	22～24cm	15cm	(Z)T55-2
高北田畑兼用すき	922412－019－2	24cm	15cm	T70
高北ボルカニックスすき	922412－021－2	24cm	15cm	
高北双用2段すき	922422－001－2	18～24cm	14～20cm	

9.13 作溝器，培土器類

品名	品番	みぞ底幅	うね高さ	兼用機種
小川3号作溝器	922217－021－1	9cm	30cm	T30 T40 T50 T65 T55 (Z)T55-2 T70
小川4号作溝器	922217－022－1	12cm	30cm	
小川5号作溝器	922217－023－1	15cm	35cm	

品名	品番	みぞ底幅	適用機種	兼用機種
畦立器3B－303	92220－1015－0	12.5cm	(Z)T5・(Z)T7	T50, T70
クボタ畦立器4号	92220－1019－0	10.8cm	(Z)T7	
畦立器301	92220－1021－0	10.8cm	(Z)T7	
畦立器4号	92220－7011－0	12.5cm	(Z)T7	T70
畦立器5号	92220－7012－0	15cm	(Z)T7	
畦立器6号	92220－7013－0	18cm	(Z)T7	

9.14 カルチベータ類

品名	品番	仕様	兼用機種
5本爪カルチベータ	922830－014－2	作業幅 15～50cm	T55 (Z)T55-2 T70
3本爪カルチベータ	922830－013－1	作業幅 15～45.5cm	

9.15 マルチ車輪類

品名	品番	仕様	兼用機種
75マルチ車輪完備	920575－013－2	外径 75cm	T40 T50 T65 (Z)T55-2
95マルチ車輪完備	920595－001－1	外径 95cm	

9.16 ラセンスキ類

品名	品番	仕様	兼用機種
ラセンスキ1形	931910－107－1	取付け幅65cm 最大耕深18cm	T40 T50 T65 T55 (Z)T55-2 T70 K550 K700
親子ラセンスキ2形	931910－108－1	取付け幅40cm/85cm 最大耕深18cm	
延長ラセン	931910－109－1	取付け幅26cm	
爪ラセン	921701－016－1	ラセンスキ幅＋19cm	
残幹処理刀	921910－106－1		
ラセンスキ用作溝器	922215－013－1	溝幅 22cm	T50, T65 K550 K700

9.17 ロータリプラウ類

品名	品番	仕様	兼用機種
4枚固定ロータリプラウ	931920－101－1	取付け幅83cm 最大耕深18cm	T40 T50 T65 T55 (Z)T55-2 T70 K550 K700
4枚分割ロータリプラウ	921920－204－1	取付け幅83cm 最大耕深18cm	
3枚固定ロータリプラウ	921920－101－1	取付け幅62cm 最大耕深18cm	
3枚分割ロータリプラウ	921920－107－1	取付け幅62cm 最大耕深18cm	
ブラケットつき4枚ロータリプラウ	921920－029－1	取付け幅83cm 最大耕深18cm	
ブラケットつき3枚ロータリプラウ	921920－031－1	取付け幅62cm 最大耕深18cm	
跳出版つき補助プラウ	921920－019－1		
補助プラウ	921920－018－1	左右各1枚	
跳出版板	921920－021－1	左右各3枚，羽根に取付ける	
ロータリプラウ作溝器1号	922213－011－1	溝幅 27cm	
ロータリプラウ作溝器2号	922213－012－1	溝幅 23cm	
ロータリプラウ作溝器3号	922213－013－1	溝幅 13.5cm	
ロータリプラウ用作溝器（2号）	932213－014－1		
スキガラ式高うね作溝器	932213－012－1	溝幅 26.8cm	

9.18 その他

品名	品番	仕様	兼用機種
T5畑用ロータリ	922021－005－1	耕幅 42～60cm	(Z)T5専用
ロータリうね整形板完備	922203－012－1	うね高さ 28～35cm うね底幅 50～80cm	T65,T70

9.19 特別付属品

品名	品番	仕様	兼用機種
丸ホイールチューブ700	62281－8331－1		(Z)T5 (Z)T7,T45
丸スリーブ	62081－8332－1		(Z)T5 (Z)T7,T45
車軸スリーブ	62081－8333－1		(Z)T5 (Z)T7,T45
六角ホイールチューブ165	62081－8334－1	取付け幅 46.8cm	(Z)T5 (Z)T7,T45
ホイールウエイト完備	923122－012－1	〔(Z)T5〕 4.00－10 タイヤ用 20kg	(Z)T5 (Z)T7,T55 (Z)T55－2
ホイールウエイト完備	923122－016－2	〔(Z)T7〕 5－12 タイヤ用 30kg	(Z)T7 T70
75マル平プーリ	13241－8523－1	外径 7.5cm	(Z)T5 (Z)T7
90マル平プーリ	13302－8528－1	外径 9cm	(Z)T5 (Z)T7
101マル平プーリ	13302－8533－1	外径10.1cm	(Z)T5 (Z)T7
プーリボス完備	62231－8140－1	(Z)T5用	LP660,T55 (Z)T55－2 T70
プーリボスアッシ	62301－8310－1	(Z)T7用	
バランスウエイト16完備	62281－8310－1	(Z)T5用(8kgウエイト＋ボルト)	
バランスウエイト21完備	62281－8320－1	(Z)T5用(13kgウエイト＋ボルト)	
バランスウエイト38完備	63512－8140－1	(Z)T7用(13kgウエイト＋ボルト)	T65
バランスウエイト33完備	63512－8150－1	(Z)T7用(8kgウエイト＋ボルト)	T65
継足し爪軸コンプ	62252－8301－1	(Z)T7用	T70
スイングセンタ完備	931891－021－2	(Z)T7用	T65, T70

9.20 標準付属品

品名	数量/台 (Z)T5	数量/台 (Z)T7	備考	品名	数量/台 (Z)T5	数量/台 (Z)T7	備考
10－12スパナ	1	—		じょうご	1	1	
14－17スパナ	1	—					
10 スパナ	—	1		取扱説明書	1	1	
12－14スパナ	—	1					
17－19スパナ	—	1		純正部品表	1	1	
14－21 ボックススパナ	1	1		保証書	1	1	
ドライバ	1	1	+, −差換え式	納入品安全説明書	1	1	
プライヤ	1	1		安全注意ポスタ	1	1	
油差し	1	1		安全憲章コンプ	1	1	安全五憲章入り

10. 主要諸元

型式		T5	T7	
呼称		(Z)T5	(Z)T7	(Z)T7−R
機体寸法	全長	1735mm	1985mm	
	全幅	712mm	712mm	
	全高	1105mm	1110mm	
	輪距	332〜632mm	494〜644mm	
重量		117kg	130kg	190kg
エンジン	名称	クボタGN250−EA	クボタGN250−ET	
	形式	空冷4サイクル1気筒立形ガソリンエンジン		
	総排気量	252c.c.	252c.c.	
	出力/回転速度	4.0馬力/1500回転毎分 (最大5.5馬力)	5.0馬力/1800回転毎分 (最大6.8馬力)	
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン		
	燃料タンク容量	5ℓ		
	点火方式	無接点式マグネト点火		
	始動方式	リコイルスタータ		
タイヤ		4.00−10	5−12	
主クラッチ方式		ベルトテンション		
操向クラッチ方式		爪クラッチ		
制動方式		内部拡張式		
変速段数	前進	6段		
	後進	2段		
	耕うん	———	4段 (副チェーンケース入換えを含む)	
PTO回転速度		低 780回転/分 高 1376回転/分	低 231回転/分 高 364回転/分	
ロータリ	駆動方式	———	センタドライブ	
	耕幅	———	420〜600mm	

(Z)T5前進速度表

エンジン回転速度　1500回転/分

呼称	主変速	副変速	車軸回転速度(回転/分)	速度 (m/分)	速度 km/H	主たる作業
第1速	1速	低速	10.0	14.7	0.88	ロータリ耕うん
第2速		高速	17.2	25.4	1.52	ロータリ耕うん
第3速	2速	低速	34.7	51.3	3.07	すき耕
第4速		高速	59.9	88.4	5.30	代かき・ロータ耕
第5速	3速	低速	84.0	124.0	7.44	ロータ耕
第6速		高速	144.8	213.9	12.83	トレーラ運搬(最高速度14.5km/H)
後進1速	後進	低速	10.5	15.5	0.93	
後進2速		高速	18.1	26.8	1.60	

(Z)T7前進速度表

エンジン回転速度　1800回転/分

呼称	主変速	副変速	車軸回転速度(回転/分)	速度 (m/分)	速度 km/H	主たる作業
第1速	1速	低速	10.6	17.3	1.03	ロータリ耕うん
第2速		高速	16.7	27.2	1.63	ロータリ耕うん
第3速	2速	低速	36.9	60.0	3.60	すき耕
第4速		高速	58.1	94.5	5.67	代かき・ロータ耕
第5速	3速	低速	89.2	145.2	8.71	ロータ耕
第6速		高速	140.6	228.7	13.72	トレーラ運搬(最高速度14.5km/H)
後進1速	後進	低速	11.2	18.2	1.09	
後進2速		高速	17.6	28.6	1.71	

爪軸回転速度及び耕うんピッチ(ロータリ付きの場合のみ)

エンジン回転速度 1800回転/分

主変速	副変速	爪回転速度及び耕うんピッチ				
		副チェーンケーススプロケット	(伝動軸) (ロータリ) 12枚×14枚		(伝動軸) (ロータリ) 14枚×12枚	
		爪変速	低	高	低	高
第1速	低速	爪回転速度(回転/分)	134.5	217.0	183.0	295.4
		耕うんピッチ	12.9cm	8.0cm	9.5cm	5.9cm
第2速	高速	爪回転速度(回転/分)	211.8	341.9	288.3	465.4
		耕うんピッチ	12.9cm	8.0cm	9.5cm	5.9cm

11. クボタ純オイル

■オイルは，クボタ純オイル をお使いください。

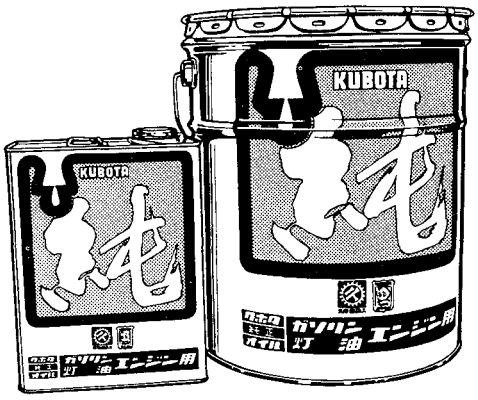
オイルは，快足テーラーの開発研究から生まれたクボタ純オイルを，必ずお使いください。
市販のオイルを御使用になりますと，あなたの大切な快足テーラーの寿命を縮めることがあります。

お買い求めは，クボタ特約店・農協又は丸善石油，大協石油，日本石油，共同石油のスタンドに御用命ください。

●エンジンには……

■クボタ純オイル

ガソリン灯油エンジン用G30
G20W20

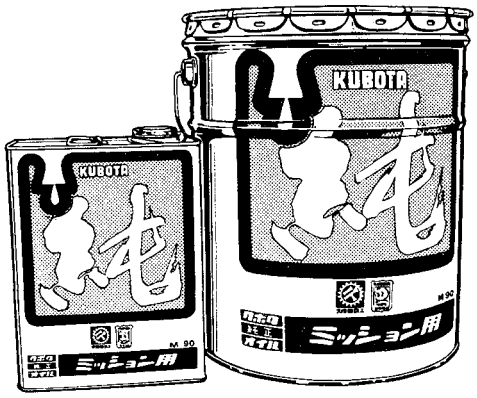


4ℓ　　20ℓ

●快足テーラー本体には……

■クボタ純オイル

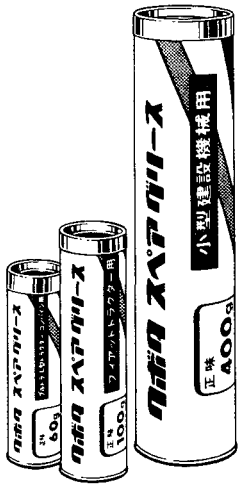
ミッション用M90



4ℓ　　20ℓ

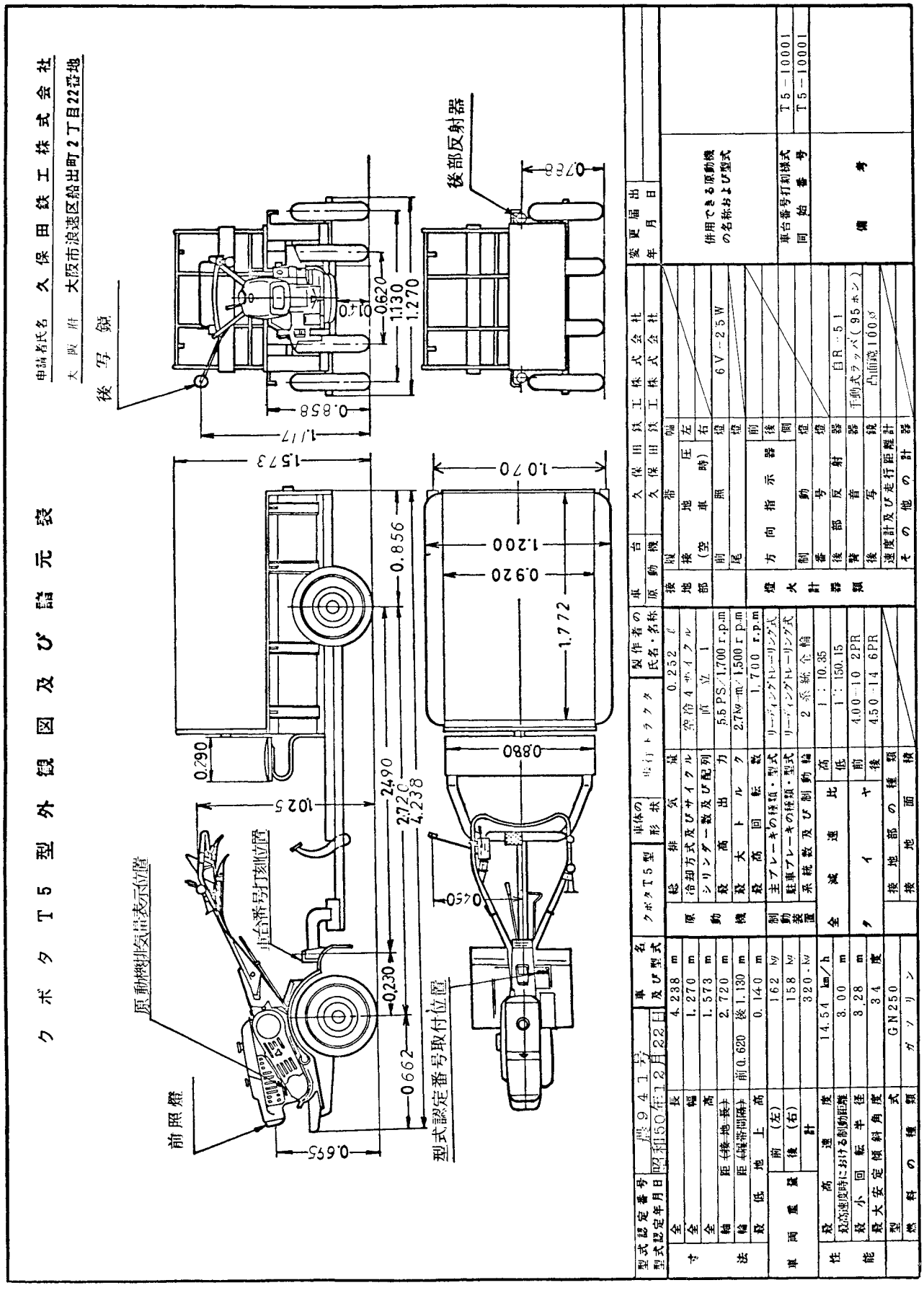
●グリースアップには……

■クボタ スペアグリース



60　100　400

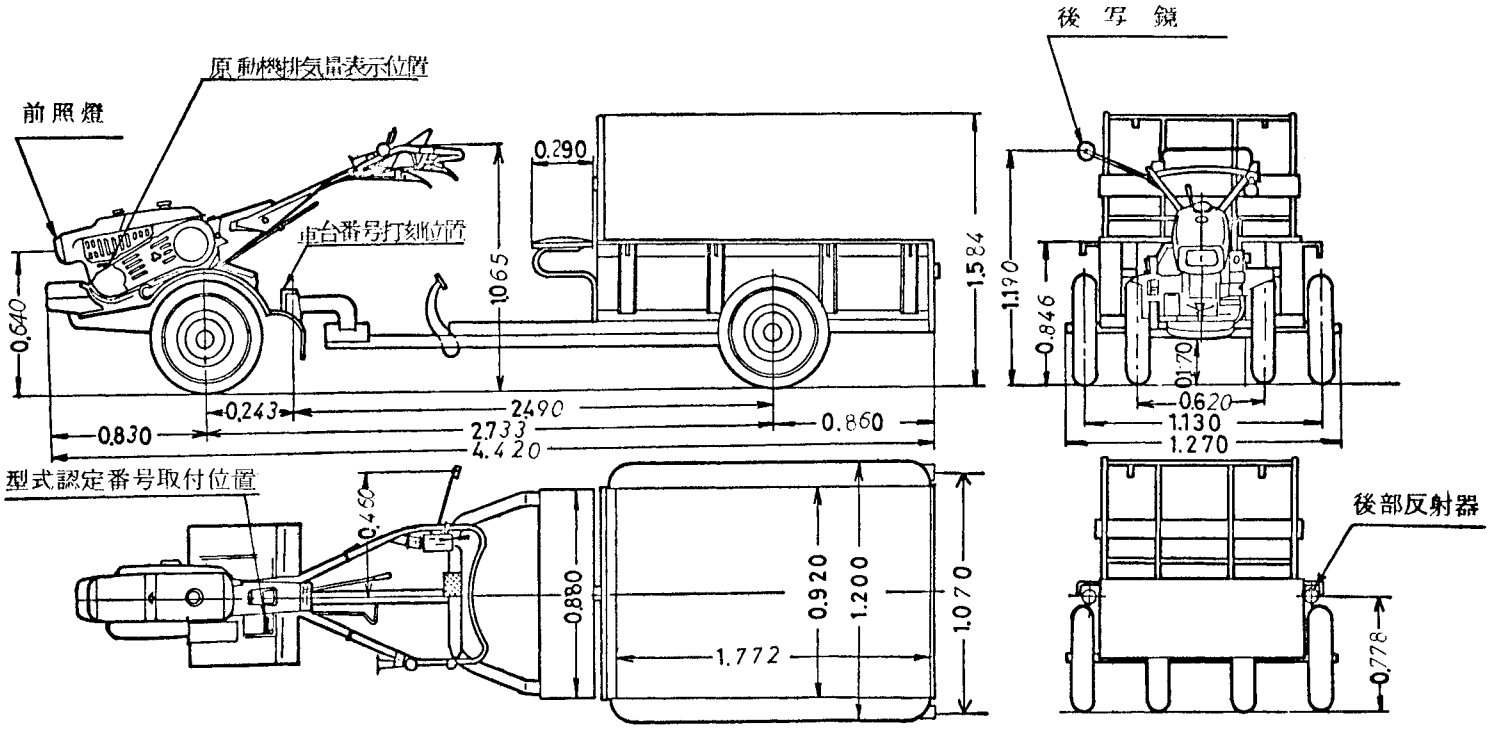
12. 型式認定外観図


クボタT5型外観図及び諸元表
申請者氏名 久保田鉄工株式会社
大阪府 大阪市浪速区船出町2丁目22番地
後写鏡
後部反射器
原動機排気量表示位置
車台番号打刻位置
型式認定番号 昭94121号
型式認定年月日 昭和60年12月22日
車名及び型式 クボタT5型
車体の形状 歩行トラクタ
製作者の氏名・名称 久保田鉄工株式会社
車台 原動機 久保田鉄工株式会社
変更届出 年月日
寸法
全長 4.238 m
全幅 1.270 m
全高 1.573 m
軸距(接地長) 2.720 m
輪距(接地帯間隔) 前0.620 後1.130 m
最低地上高 0.140 m
車両重量 前(左) 162 kg
後(右) 158 kg
計 320 kg
性能
最高速度 14.54 km/h
定地速度時における制動距離 8.00 m
最小回転半径 3.28 m
最大安定傾斜角度 34 度
原動機 型式 GN250
燃料の種類 ガソリン
総排気量 0.252 ℓ
冷却方式及びサイクル 空冷4サイクル
シリンダー数及び配列 直立 1
最高出力 5.5 PS/1,700 r.p.m
最大トルク 2.7kg-m/1,500 r.p.m
最高回転数 1,700 r.p.m
主ブレーキの種類・型式 リーディングトレーリング式
駐車ブレーキの種類・型式 リーディングトレーリング式
系統数及び制動輪 2系統 4輪
全減速比 高 1:10.35
低 1:150.15
タイヤ 前 400-10 2PR
後 450-14 6PR
接地部の種類
接地面積
接地圧 前
左
右
後
左
右
灯火類 前照灯
尾灯
方向指示器 前
後
側
制動灯
番号灯
後部反射器 白R-51
警音器 手動式ラッパ(95ホン)
後写鏡 凸面鏡100φ
速度計及び走行距離計
その他の計器
併用できる原動機の名称および型式
車台番号打刻様式 T5-10001
同始番号 T5-10001
備考

クボタT7型外観図及び諸元表

申請者氏名　久保田鉄工株式会社

大阪府　大阪市浪速区船出町2丁目22番地



型式認定番号	農942号	車名及び型式	クボタT7型	車体の形状	歩行トラクタ	製作者の氏名・名称	車台	久保田鉄工株式会社			変更届出年月日		
型式認定年月日	昭和50年12月22日						原動機	久保田鉄工株式会社					

寸法	全長	4.420 m	原動機	総排気量	0.252 ℓ	接地部	接地幅		m	併用できる原動機の名称および型式			
	全幅	1.270 m		冷却方式及びサイクル	空冷4サイクル		接地圧（空車時）	左	kg/cm²				
	全高	1.584 m		シリンダー数及び配列	直立1			右	kg/cm²				
	軸距（接地長）	2.730 m		最高出力	6.8 PS/1,900 r.p.m	灯火計器類	前照燈		6V-25W				
	輪距（接地間隔）	前 0.620 後 1.130 m		最大トルク	2.7 kg-m/1,500 r.p.m		尾燈						
	最低地上高	0.170 m		最高回転数	1,900 r.p.m		方向指示器	前					
車両重量	前（左）	197 kg	制動装置	主ブレーキの種類・型式	リーディングトレーリング式			後					
	後（右）	152 kg		駐車ブレーキの種類・型式	リーディングトレーリング式			側			車台番号打刻様式	T7－10001	
	計	349 kg		系統数及び制動輪	2系統全輪		制動燈				同始番号	T7－10001	
性能	最高速度	14.49 km/h	全減速比	高	1：12.80		番号燈						
	最高速度時における制動距離	3.15 m		低	1：169.70		後部反射器		白R－51				
	最小回転半径	3.25 m	タイヤ	前	5-12 2PR		警音器		手動式ラッパ（95ホン）		備考		
	最大安定傾斜角度	32 度		後	4.50-14 6PR		後写鏡		凸面鏡100φ				
	型式	GN 250		接地部の種類			速度計及び走行距離計						
	燃料の種類	ガソリン		接地面積	cm²		その他の計器						

純正部品を使いましょう

農業機械の補修には，
安心してご使用いただける純正部品を，お買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと，
機械の不調や，あなたの大切な機械の寿命を短かくする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは，
あなたの機械に一番よくマッチするように研究され，
厳重な検査を受けてから出荷されますので，安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと，
作業能率の低下やあなたの機械の寿命を短かくする原因になります。

N. ⊙. 6—22. 15. Ⓐ

久保田鉄工株式会社

本社	大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号	〒556-91	TEL (06)	648−2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町3丁目3番2号	〒103	TEL (03)	279−2111
北海道支店	札幌市中央区北三条西3丁目1番地44(札幌富士ビル)	〒060	TEL (011)	214−3031
東北支店	仙台市本町2丁目15番11号	〒980	TEL (0222)	25−8151
名古屋支店	名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)	〒450	TEL (052)	563−1511
九州支店	福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命博多ビル)	〒812	TEL (092)	451−1121
サービスステーション	名取・名取市田高字原182番地の1	〒981-12	TEL (02238)	4−5151
	秋田・秋田市寺内字大小路207番54	〒011	TEL (0188)	45−1601
	水戸・水戸市千波町1954−1	〒310	TEL (0292)	41−3141
	浦和・浦和市大字西堀字桜田1228番地	〒336	TEL (0488)	62−1121
	新潟・新潟市上所島字上所上1番	〒950	TEL (0252)	85−1261
	名古屋・愛知県一宮市観音町1番地の1	〒491	TEL (0586)	24−5111
	金沢・松任市下柏野町956−1	〒924	TEL (0762)	75−1121
	岡山・岡山市宍甘275番地	〒703	TEL (0862)	79−4511
	米子・米子市米原569番地	〒683	TEL (0859)	33−5011
	福岡・福岡市東区大字下和白字蒲地開	〒811-02	TEL (092)	606−3161
	熊本・熊本県下益城郡富合町大字廻江846の1	〒861-41	TEL (0963)	57−6181
	高松・高松市藤塚町1丁目11番23号	〒760	TEL (0878)	31−8171
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	TEL (0722)	41−1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22の2	〒321	TEL (0286)	61−1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	TEL (029752)	5111
枚方機械製造所	枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	TEL (0720)	40−1121
堺部品センター	堺市神南辺町2丁76−2	〒590	TEL (0722)	29−5501
宇都宮部品センター	栃木県河内郡河内町白沢1819−1	〒329-11	TEL (02867)	3−1521
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町字大曲186−37	〒061-12	TEL (01137)	6−2335
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	TEL (029752)	5111
枚方部品センター	枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	TEL (0720)	40−1121

クボタトラクターコーポレーション(アメリカ・カリフォルニア州)・カナダクボタトラクター販売㈱(オンタリオ州)
ブラジル久保田鉄工㈲(サンパウロ市)・ヨーロッパクボタトラクター販売㈱(フランス・アルジャントゥイユ市)
イランクボタ㈱(ガズビン市)・インドネシアクボタ農業機械㈱(セランゴール州)・タイクボタトラクター販売㈱(バンコック市)
クボタマルスチール農業機械㈱(フィリピン・マニラ市)・新台湾農業機械㈱(高雄市)

久保田鉄工

品番　62285−6321−3